

筑西消防署川島分署 新築工事

図 面 目 録														
番 号	図 面 名 称	縮 尺	番 号	図 面 名 称	縮 尺	番 号	図 面 名 称	縮 尺	番 号	図 面 名 称	縮 尺	番 号	図 面 名 称	縮 尺
意 匠			意 匠			構 造			電 機 設 備			機 械 設 備		
A-00	表紙・図面目録	NON SCALE	A-51	訓練塔_建具表	1/50	S-01	構造設計標準仕様(事務所棟)	NON SCALE	E-01	電気設備工事特記仕様書(その1)	NON SCALE	M-01	機械設備特記仕様書-1	NON SCALE
A-01	特記仕様書(1)	NON SCALE	A-52	法チェック図	1/200	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(事務所棟)	NON SCALE	E-02	電気設備工事特記仕様書(その2)	NON SCALE	M-02	機械設備特記仕様書-2	NON SCALE
A-02	特記仕様書(2)	NON SCALE	A-53	雑詳細図-1	-	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-03	配置図	1/200	M-03	給排水-1凡例・機器表	NON SCALE
A-03	特記仕様書(3)	NON SCALE	A-54	雑詳細図-2	-	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)(事務所棟)	NON SCALE	E-04	受変電設備仕様書	NON SCALE	M-04	給排水-1配置図	1/200
A-	特記仕様書(4)	NON SCALE	A-55	雑詳細図-3	-	S-05	ポーリング位置・柱状図(事務所棟)	NON SCALE	E-05	受変電設備単線結線図	NON SCALE	M-05	給排水-1 1階平面図	1/100
A-	特記仕様書(5)	NON SCALE	A-56	家具リスト	NON SCALE	S-06	基礎詳細図(事務所棟)	1/30	E-06	自家発電設備特記仕様書	NON SCALE	M-06	給排水-1 1階平面詳細図	1/50
A-	特記仕様書(6)	NON SCALE	A-57	消防什器詳細図(1)	1/20	S-07	基礎梁・1階柱壁伏図(事務所棟)	1/100	E-07	自家発電設備出力計算書	NON SCALE	M-07	給排水-2 1階平面詳細図	1/50
A-	外部仕上表・部材リスト	NON SCALE	A-58	消防什器詳細図(2)	1/15, 1/10	S-08	2階梁柱壁伏図・R階梁柱壁伏図(事務所棟)	1/100	E-08	1階幹線・エアコン電源設備配線図	1/100	M-08	給排水-1衛生器具表	NON SCALE
A-	内部仕上表(1)	NON SCALE	A-59	降下板詳細図	1/30	S-09	軸組図(1)(事務所棟)	1/100	E-09	2階幹線・エアコン電源設備配線図	1/100	M-09	給排水-1樹リスト	NON SCALE
A-	内部仕上表(2)	NON SCALE	A-60	ホース乾燥塔詳細図(1)	1/20	S-10	軸組図(2)(事務所棟)	1/100	E-10	R階幹線・動力設備配線図	1/100	M-10	空調-1 1階平面図	1/100
A-	配置図・案内図	1/200	A-61	ホース乾燥塔詳細図(2)	1/20	S-11	軸組図(3)(事務所棟)	1/100	E-11	分電盤結線図	NON SCALE	M-11	空調-2 1階平面図	1/100
A-	求積図	1/200	A-62	ホース乾燥塔詳細図(3)	1/20	S-12	軸組図(4)(事務所棟)	1/100	E-12	照明器具姿図	NON SCALE	M-12	空調-R 1階平面図	1/100
A-	面積表	1/200	A-63	Exp.j 詳細図	1/5	S-13	柱・大梁リスト(事務所棟)	1/30	E-13	1階電灯設備配線図	1/100	M-13	空調-1機器表	NON SCALE
A-	1階平面図	1/100	A-64	カーテンウォール詳細図(1)	1/40, 1/3	S-14	小梁・壁・スラブリスト(事務所棟)	1/30	E-14	2階電灯設備配線図	1/100	M-14	空調-1 1階平面図(計装)	1/100
A-	2階平面図	1/100	A-65	カーテンウォール詳細図(2)	1/40, 1/3	S-15	架構配筋詳細図(事務所棟)	1/30	E-15	R階電灯設備配線図	1/100	M-15	空調-2 1階平面図(計装)	1/100
A-	R階平面図	1/100	A-66	オーバースライダー詳細図	1/60, 1/20, 10	S-16	構造設計標準仕様(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-16	1階コンセント設備配線図	1/100	M-16	空調-R 1階平面図(計装)	1/100
A-	立面図(1)	1/100	A-67	トイレブース詳細図	1/30, 1/3	S-17	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-17	2階コンセント設備配線図	1/100	M-17	換気-1 1階平面図	1/100
A-	立面図(2)	1/100	A-68	仮設計画図	1/100	S-18	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-18	R階コンセント設備配線図	1/100	M-18	換気-2 1階平面図	1/100
A-	断面図	1/100				S-19	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-19	放送設備 系統図、機器姿図	NON SCALE	M-19	換気-1機器表・換気計算	NON SCALE
A-	矩計図(1)	1/30				S-20	鉄骨構造標準図(1)(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-20	放送設備 系統図、機器姿図	NON SCALE	M-20	井戸周り配管図	1/20
A-	矩計図(2)	1/30		外構図		S-21	鉄骨構造標準図(2)(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-21	1階電話、無線空配管、インターホン、LAN、テレビ共聴設備配線図	1/100			
A-	矩計図(3)	1/30	B-01	外構平面図	1/100	S-22	鉄骨構造標準図(3)(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-22	2階電話、無線空配管、インターホン、LAN、テレビ共聴設備配線図	1/100			
A-22	矩計図(4)	1/30	B-02	外構断面図1	1/30	S-23	QLデッキ合成スラブ設計施工標準図(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-23	R階テレビ共聴、無線用空配管設備配線図	1/100			
A-23	矩計図(5)	1/30	B-03	外構断面図2	1/100	S-24	ベースバック柱脚工法標準図(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-24	ITV設備 系統図、機器姿図	NON SCALE			
A-24	事務所棟_1階平面詳細図(1)	1/50	B-04	雨水排水計画 平面図	1/100	S-25	ベースバック柱脚工法標準図(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-25	1階放送、ITV設備配線図	1/100			
A-25	事務所棟_1階平面詳細図(2)	1/50	B-05	舗装計画図	1/100	S-26	ポーリング位置・柱状図(車庫棟・外階段)	NON SCALE	E-26	2階放送、ITV設備配線図	1/100			
A-26	事務所棟_2階平面詳細図(1)	1/50	B-06	外構平面詳細図	1/50	S-27	基礎伏図・基礎詳細図(車庫棟・外階段)	1/100	E-27	太陽光発電設備 特記仕様書	NON SCALE			
A-27	事務所棟_2階平面詳細図(2)	1/50	B-07	玄関スロープ部分詳細図	1/30	S-28	中間・R階梁伏図(車庫棟・外階段)	1/100	E-28	太陽光発電設備 システム系統図	NON SCALE			
A-28	事務所棟_展開図(1)	1/50	B-08	サイン図	1/5 1/10	S-29	軸組図(1)(車庫棟・外階段)	1/100	E-29	太陽光発電設備 システム系統図	NON SCALE			
A-29	事務所棟_展開図(2)	1/50	B-09	造成工事施設図	1/100	S-30	軸組図(2)(車庫棟・外階段)	1/100	E-30	太陽光発電設備 架台参考図	NON SCALE			造成工事 図面別紙
A-30	事務所棟_展開図(3)	1/50				S-31	部材・柱脚・大梁接手リスト(車庫棟・外階段)	1/30	E-31	1階太陽光発電設備配線図	1/100	C-01	位置図・図面目録	
A-31	事務所棟_展開図(4)	1/50				S-32	架構詳細図(車庫棟・外階段)	1/30	E-32	2階太陽光発電設備配線図	1/100	C-02	現況平面図	
A-32	事務所棟_展開図(5)	1/50				S-33	構造設計標準仕様(訓練棟)	NON SCALE	E-33	R階太陽光発電設備配線図	1/100	C-03	全体計画平面図	
A-33	事務所棟_展開図(6)	1/50				S-34	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(訓練棟)	NON SCALE	E-34	非常照明、誘導灯姿図	NON SCALE	C-04	計画平面図(川島分署拡大)	
A-34	事務所棟_展開図(7)	1/50				S-35	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)(訓練棟)	NON SCALE	E-35	1階非常照明、誘導灯設備配線図	1/100	C-05	造成断面図	
A-35	車庫棟_1階平面詳細図	1/50				S-36	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)(訓練棟)	NON SCALE	E-36	2階非常照明、誘導灯設備配線図	1/100	C-06	浸透施設計画図	
A-36	車庫棟_2階平面詳細図	1/50				S-37	ポーリング位置・柱状図(訓練棟)	NON SCALE	E-37	自動火災報知設備系統図	NON SCALE	C-07	流入樹構造図	
A-37	訓練塔_平面詳細図	1/50				S-38	基礎詳細図(訓練棟)	1/30	E-38	1階自動火災報知設備配線図	1/100	C-08	防火水槽詳細図	
A-38	訓練塔_展開図	1/50				S-39	基礎梁・1階柱壁伏図、2階梁2階柱壁伏図、 R階梁2階柱壁伏図、軸組図(訓練棟)	1/100	E-39	2階自動火災報知設備配線図	1/100	C-09	擁壁平面図・展開図(用水路側及び隣接地側)	
A-39	事務所棟_東階段詳細図	1/50										C-10	擁壁平面図・展開図(県道側)	
A-40	事務所棟_西階段詳細図	1/50				S-40	柱・大梁・小梁・壁リスト(訓練棟)	1/30				C-11	L型擁壁標準図	
A-41	事務所棟_屋上階段詳細図	1/50				S-41	スラブリスト・架構配筋詳細図(訓練棟)	1/30				C-12	断面図(用水路側及び国道側)	
A-42	外部階段詳細図	1/50										C-13	道路構造物詳細平面図(出入口部)	
A-43	1階天井伏図	1/100										C-14	断面図(出入口部)	
A-44	2階天井伏図	1/100										C-15	標準構造図(出入口部)	
A-45	1階建具キープラン	1/100										C-16	撤去工平面図(出入口部)	
A-46	2階建具キープラン	1/100										C-17	面積計算図(出入口部)	
A-47	事務所棟_建具表(1)	1/100										C-18	座標管理図	
A-48	事務所棟_建具表(2)	1/100										C-19	仮設敷鉄板平面図	
A-49	事務所棟_建具表(3)	1/50										C-20	土量方眼図	
A-50	車庫棟_建具表	1/50										C-21	護岸構造図(用水路部)	

筑西広域市町村圏事務組合

特記事項 図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10	承認	担当	製図	年月日 2018.10	工事名称 筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号 A 00
				縮尺 NONSCALE	図面名称 表紙・図面目録	

17 カーテンウォール工事	①メタルカーテンウォール	カーテンウォール材料の種類 (17.2.2)	種類 ※アルミニウム製	規格等 ※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	
		カーテンウォール方式	○方立方式 ・バックマリオ方式 (・単純2辺支持構法 ・SS6構法) ・スバンドレル方式 ・パネル方式 ・小型パネル組合せ方式 (・ノックダウン方式 ・ユニット方式)		
		シーリング材及びガラス取付け材料 (9.6.2) (17.2.2) (表9.6.1)	下記以外は標仕表9.6.1による		
		被着体の組合せ	シーリング材の種類		
		金属	ガラス	記号	主成分による区分
		ガラス	石、タイル		耐久性による区分
		構造用ガasket (17.2.2)	※適用しない ・適用する 施工箇所 ※図示		
		断熱材 (17.2.2)	※適用しない ・適用する 種類 () 厚さ () mm 施工箇所 ※図示		
		製品の寸法許容差 (17.2.3) (表17.2.1)	※標仕表17.2.1による ・製作所標準製作規定寸法許容差による		
		アルミニウムの表面処理 (17.2.3) (表14.2.1)	種類 () 厚さ () mm 施工箇所 ※図示		
		耐風圧性能 (17.1.3)	性能値 ※建築基準法施行令第7条及び平成12年建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 () N/m ² 以上及び負圧 () N/m ² 以上に対して安全であること。		
		耐震性能 (17.1.3)	設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 垂直方向 (KV) ※0.5		
		鉄骨造	建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	変位後の状態
		鉄筋コンクリート造	※± (1/100) × h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと	※部材の破損、残留変形及び有害な変形が起こらないこと

18 塗装工事	①材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放数量 (18.1.3)	※規制対象外 ・第三種			
		建物内部に使用する塗料の材質 (18.1.3)	○水性系 ※室内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(施工箇所:)			
		②素地ごしらえ	垂れめつき鋼面の素地ごしらえの種類 (18.2.4) (表18.2.3) (表18.3.4)	種類 () 施工箇所及び塗料種類		
		A種	2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り、アクリルシリコン樹脂エナメル塗りの場合			
		B種	A種、C種以外			
		C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合及び鋼製建具等			
		③床用塗料塗り	材質 ウレタン樹脂系塗料 (※標準色)			
		仕上種類 ※平滑仕上げ	・防滑仕上げ			
		塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m ² 以上とする				
		④防塵用塗料塗り	材質 水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色)			
		仕上種類 コーティング (ローラー掛け塗り)				
		塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする。				
		⑤打放しコンクリート保護塗装	防塵塗床(A) ヲリ樹脂塗床(7カ水系)	工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
		1	プライマー塗			0.05
		2	下塗(防汚材混入)			0.1
3	仕上塗(防汚材混入)			0.12		
防塵塗床(B) ヲリ樹脂塗床(表面硬化剤)	工程	材料・工法	使用量 (kg/m ²)			
1	表面硬化剤塗り			0.17~0.28		
⑥ALC板塗装	外壁部 ○打放しコンクリート用シランフッ素性上材吹付 アクアトップSF水性 同等品					
	内壁部 ○超耐候・超低汚染型水性無機塗料吹付					

19 内装工事	①接着剤 (内装工事全般)	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等又はホルムアルデヒド系防霉剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放数量 (19.2.2) (19.3.3) (19.5.5.6) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2)	※規制対象外 ・第三種 ※接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。		
		②ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能 (19.2.2)	帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ⁷ ~10 ¹⁰ Ω程度	
		③カーペット敷き	ビニル床シート (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
		④合成樹脂塗床	ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床シート (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	
			ビニル床タイル (19.2.2)	種類 () 記号 () 施工箇所 () 色柄 () 寸法 (mm) () 厚さ (mm) () 特殊機能 ()	

20 床張り工事	①フローリング張り	①フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		②フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		③フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		④フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑤フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑥フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑦フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑧フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑨フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑩フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑪フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑫フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑬フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	
		⑭フローリング張り	種類 () 樹種 () 厚さ (mm) () 大きさ (mm) () 経年劣化 () 工法 ()	(19.5.2~6) (表19.5.1,2)	

19 内装工事

9 壁紙張り (19.8.2)
壁紙の種類
防火性能
備考

壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
業地ごしえ
モルタル面、プラスチック面
コンクリート面
せっこうボード面

10 断熱材 (19.9.2.3)
種類
施工箇所
厚さ (mm)
品質等

ロックウール保温板、グラスウール保温板、フェノールフォーム保温板、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 第三種

11 シャワー室天井材
市販品
材質
表面仕上げ
性能
幅 (mm)
備考

12 鋼製床組

20 ユニット及びその他の工事

1 アクセフロア (OAフロア) (20.2.2)
施工箇所
構法
仕上り高
適用地震時
耐荷重性能
表面仕上材
備考

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等品とする。
表面仕上材の品質、性能は、標仕19章による。

2 可動開仕切
構造形式
パネル部の
表面材種
表面仕上げ
遮音性能
防火性能

3 移動開仕切
遮音性能
厚さ (mm)
表面材
表面仕上げ
操作方法

4 トイレブース
表面仕上げ材 (20.2.5)
表面材の材質
形状
脚部
材質
形状
材質

5 階段滑り止め
6 階段手すり
7 黒板及びホワイトボード
種類
寸法 (mm)
色彩
備考

8 鏡
寸法 (mm)
厚さ (mm)

9 表示 (20.2.10)
区分
材質
寸法 (mm)
厚さ (mm)
取付け高さ
書体

10 煙突ライニング
煙突用成形ライニング材
適用安全使用温度
キャストタル耐火材

11 ブラインド (20.2.12)
形式
種類
スラットの材質
スラットの幅 (mm)
施工箇所

12 ロールスクリーン (20.2.13)
材種
操作方式
透光性能
寸法 (mm)
施工箇所
備考

13 カーテン (20.2.14)
形式
開閉操作
ひだの種類
施工箇所
備考

14 カーテンレール (20.2.14)
材種
形式
形状
市販品 (アルミニウム製 押出材材)

15 天井点検口
16 天井点検口
17 床点検口

18 防煙垂れ壁
材種
寸法
形式
外枠
内枠

19 視覚障害者用床タイル (20.2.11)
施工箇所
種類
寸法 (mm)
厚さ (mm)

20 くつふきマット
21 流し台ユニット (19.2.2)
材種
受枠
備考

22 洗面カウンター
23 収納家具 (12.2.2) (19.7.2)
材質
形状・寸法
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量

24 鋼製書架及び物品棚
種類
規格等
耐荷重による種類

25 屋内掲示板
26 屋外掲示板
照明器具
表面の材質
製造所

27 耐震スリット
方向
タイプ
耐火性能
防水性能

28 エキスパンション・ジョイント金物
材質
クリアランス (mm)
耐火性能
防水型

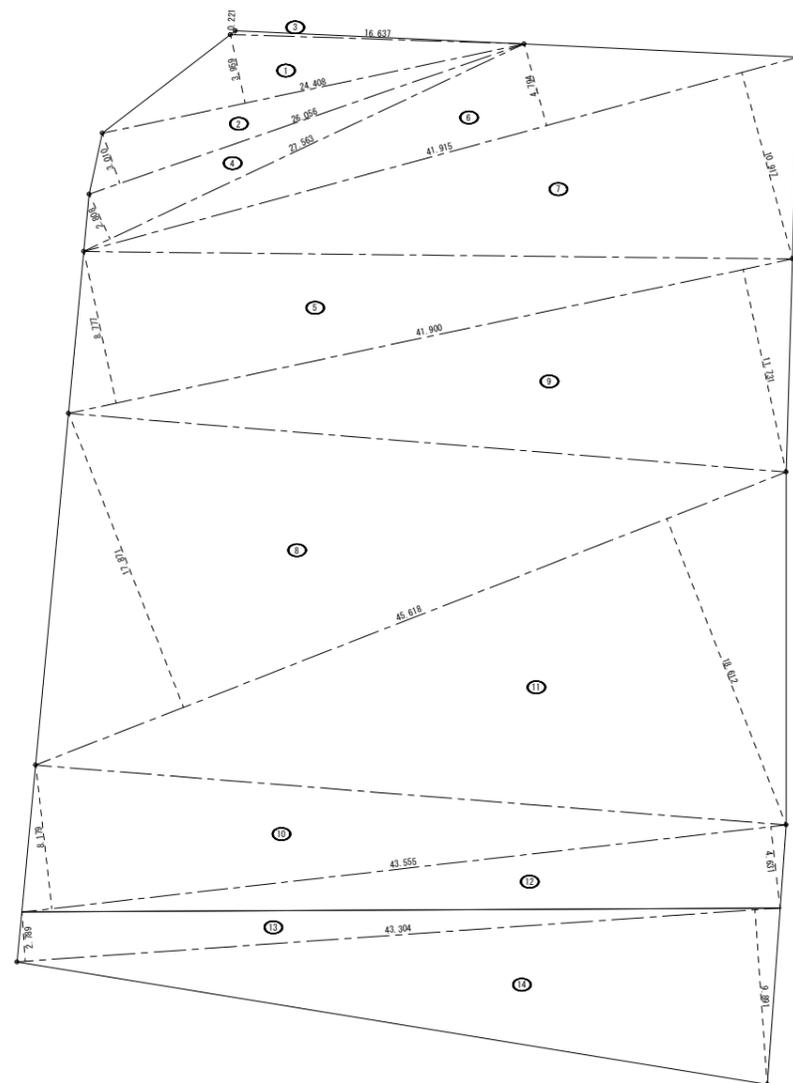
29 止水板
30 旗竿
31 旗竿受金物
32 止車止支柱

33 フェンス
図示による
種類
柱径・肉厚 (mm)
高さ (mm)
備考

34 敷地境界石種
種類
設置方法
コンクリートの割合

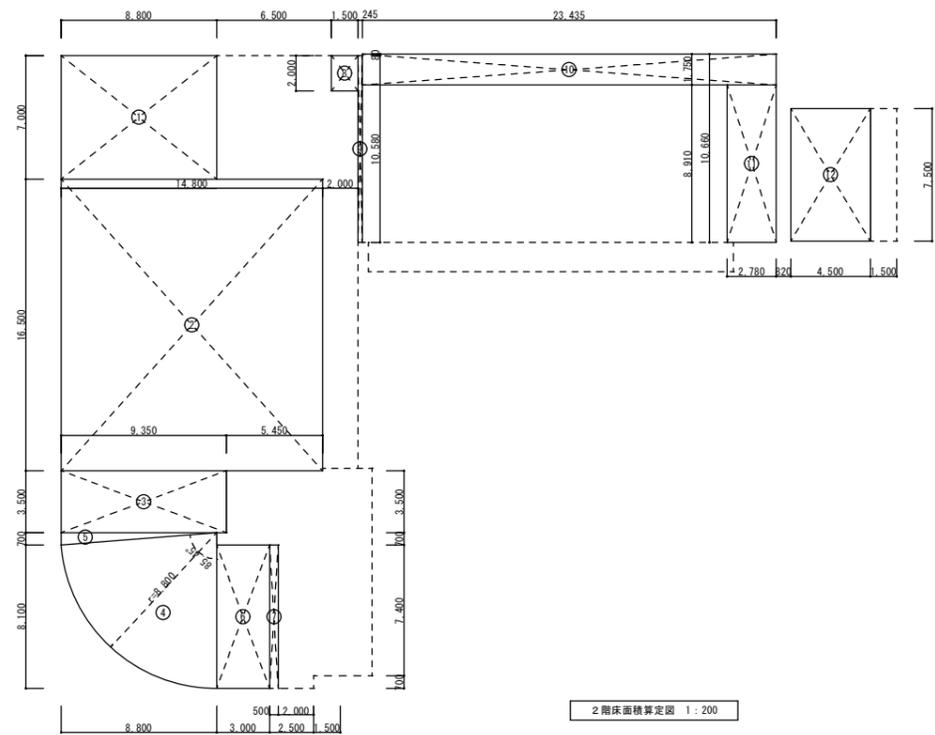
35 ユニットバス
ユニットシャワー
○設備リストによる (設備工事)

21 排水工事	① 排水管	排水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1) (21.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状 (接合方法)</th> </tr> <tr> <td>※遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管 (※1種・2種)</td> <td>・B形 (ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>○環状強化ビニル管</td> <td>※VP ○U ・RS-VU □ RF-VP □</td> <td>※有孔管 200φ</td> </tr> </table>	材種	管の種類	管形状 (接合方法)	※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種・2種)	・B形 (ゴム接合)	○環状強化ビニル管	※VP ○U ・RS-VU □ RF-VP □	※有孔管 200φ	22 舗装工事	① 盛土に用いる材料 (22.2.3) (表3.2.1)	<p>種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種</p> <p>2 道断層及び凍上抑制層の材料 (22.2.3)</p> <p>3 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 (22.2.3) (表22.2.2)</p> <p>4 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ※行う (22.2.5)</p> <p>5 路床締固め度の試験 ※行う (22.2.5)</p> <p>6 砂の粒度試験 ※行う (22.2.5)</p> <p>⑦ 路盤材料 □ ※再生クラッシュヤラン (RC-40) ・クラッシュヤラン (0-40) 又はクラッシュヤランスラグ (CS-40) (22.3.3)</p> <p>8 路盤の締固め度試験 ※行う (22.3.5)</p> <p>⑨ アスファルト舗装 (22.4.2) (表22.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※アスファルト舗装</td> <td>※なし ・あり</td> <td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カラー舗装</td> <td>※なし ・あり</td> <td></td> </tr> </table> <p>アスファルト ※再生アスファルト □ ・ストレートアスファルト (22.4.3)</p> <p>カラー舗装の着色骨材 ・着色骨材 (焼成) ・着色骨材 (樹脂被覆)</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>※一般地域</th> <th>※寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>○中粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・開粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td colspan="2">・粗粒度アスファルト混合物 (20)</td> </tr> </table> <p>シーコート ※行わない ・行う (施工範囲:) (22.4.5)</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)</p> <p>⑩ コンクリート舗装 (22.5.3)</p> <p>厚強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3) (表22.5.3)</p> <p>注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3.4)</p> <p>鉄筋 ※あり (D10) ・なし (22.5.3.4)</p> <p>厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)</p> <p>11 透水性 アスファルト舗装 □ アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6) (22.4.6)</p> <p>12 排水性 アスファルト舗装 □ アスファルト混合物 (22.8.3) (表22.8.2)</p> <p>・改質アスファルトⅠ型 ※改質アスファルトⅡ型</p> <p>タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 ※PKR-T (22.8.3) (表22.8.3)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.8.6)</p> <p>13 ブロック舗装 (22.9.2.3)</p> <p>・コンクリート平板舗装 (JIS A 5371による)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td></td> <td></td> <td>・砂</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> </table> <p>・インターロッキングブロック舗装 (JIS A 5371による) (22.9.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>・普通ブロック (N)</td> <td>車道部</td> <td>標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>歩道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・誘導・注意喚起用ブロック</td> <td></td> <td>誘導・注意喚起用は黄色系とする</td> </tr> <tr> <td>・植生用ブロック (V)</td> <td>80 ・ 100</td> <td></td> </tr> </table> <p>・舗石舗装 (22.9.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基 層</th> </tr> <tr> <td>・小舗石 (花こう岩)</td> <td>80~100</td> <td>・うろこ張り</td> <td>・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</td> </tr> </table> <p>JIS K 5665 (路面標示用塗料) による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>塗布幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> <th>揮発性有機溶剤の含有率</th> </tr> <tr> <td>・1種 □</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・白</td> <td></td> <td></td> <td>塗料総質量に対して5%以下</td> </tr> <tr> <td>・2種 □</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※3種1号</td> <td>溶融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※なし ・あり	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・カラー舗装	※なし ・あり		区分	※一般地域	※寒冷地域	表層	○中粒度アスファルト混合物 (13)	※密粒度アスファルト混合物 (13F)		・開粒度アスファルト混合物 (13)	・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)	基層	・粗粒度アスファルト混合物 (20)		種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	・普通平板 (N)			・砂	・透水平板 (P)			・モルタル	種 類	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等	・普通ブロック (N)	車道部	標準品	・透水性ブロック (P)	歩道部		・誘導・注意喚起用ブロック		誘導・注意喚起用は黄色系とする	・植生用ブロック (V)	80 ・ 100		種 類	厚さ (mm)	施工方法	基 層	・小舗石 (花こう岩)	80~100	・うろこ張り	・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装	種類	施工	適用	色	塗布幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率	・1種 □	常温	液状	・白			塗料総質量に対して5%以下	・2種 □	加熱						※3種1号	溶融	粉体状					23 植栽工事及び屋上緑化工事	① 植栽基盤整備 (23.2.2.3) (表23.2.1.2)	<table border="1"> <tr> <th>適 用</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>○行う ・行わない</td> <td>・</td> <td>B種</td> <td>・植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2.3) (表23.2.1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高 (m)</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>100</td> <td>・A種</td> <td>・葉挿りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>※現場発生土の良質土 ・客土 (・黒土 ・真砂土) (23.2.3)</p> <p>※適用する (23.2.3.4)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 ・図示</p> <p>パーク増肥 □</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 70%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない 窒素含量 (現物) : 0.5%以下 りん酸含量 (現物) : 0.2%以下 加里含量 (現物) : 0.1%以上</p> <p>発酵下水汚泥コンポスト □</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする</p> <p>ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 35%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20以下 pH : 8.5以下 水分 : 50%以下 窒素含量 (現物) : 0.8%以上 りん酸含量 (現物) : 1.0%以上 アルカリ分 (現物) : 15%以下</p> <p>4 支柱材 ※杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) □ (23.3.2)</p> <p>防腐処理方法 ※加圧式防腐処理 ・真竹 (良質な2年生以上)</p> <p>5 幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)</p> <p>⑥ 芝張り (23.4.2)</p> <p>種類 ※こらい芝 ・野芝 工法 ・目地張り ○た張り</p> <p>7 吹付けは種用種子等 ※洋芝類 ・クローバー ・図示</p> <p>8 地被類 ※コンテナ栽培品 (23.5.2.3)</p> <p>9 屋上緑化 □</p> <p>植栽基盤及び材料 (23.5.2.3)</p> <p>・屋上緑化システム</p> <p>土壌層の厚さ ・図示</p> <p>保水・排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成形品</p> <p>植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土</p> <p>樹木の樹種、寸法、株立数、数量等 ※図示</p> <p>・屋上緑化軽量システム</p> <p>芝及び地被類の種類等 ※図示</p> <p>工法 (23.5.4)</p> <p>支柱 ・設置する (種類 ・図示 ・)</p> <p>かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による)</p>	適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	○行う ・行わない	・	B種	・植栽範囲 ・図示	樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	・12以上	100	・A種	・葉挿りの範囲	・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	60	・C種	・図示	・3未満	50	・D種	
	材種	管の種類	管形状 (接合方法)																																																																																																																															
	※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種・2種)	・B形 (ゴム接合)																																																																																																																															
	○環状強化ビニル管	※VP ○U ・RS-VU □ RF-VP □	※有孔管 200φ																																																																																																																															
舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類																																																																																																																																
※アスファルト舗装	※なし ・あり	※顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																																																																
・カラー舗装	※なし ・あり																																																																																																																																	
区分	※一般地域	※寒冷地域																																																																																																																																
表層	○中粒度アスファルト混合物 (13)	※密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																
	・開粒度アスファルト混合物 (13)	・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																
基層	・粗粒度アスファルト混合物 (20)																																																																																																																																	
種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材																																																																																																																															
・普通平板 (N)			・砂																																																																																																																															
・透水平板 (P)			・モルタル																																																																																																																															
種 類	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等																																																																																																																																
・普通ブロック (N)	車道部	標準品																																																																																																																																
・透水性ブロック (P)	歩道部																																																																																																																																	
・誘導・注意喚起用ブロック		誘導・注意喚起用は黄色系とする																																																																																																																																
・植生用ブロック (V)	80 ・ 100																																																																																																																																	
種 類	厚さ (mm)	施工方法	基 層																																																																																																																															
・小舗石 (花こう岩)	80~100	・うろこ張り	・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装																																																																																																																															
種類	施工	適用	色	塗布幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率																																																																																																																												
・1種 □	常温	液状	・白			塗料総質量に対して5%以下																																																																																																																												
・2種 □	加熱																																																																																																																																	
※3種1号	溶融	粉体状																																																																																																																																
適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲																																																																																																																															
○行う ・行わない	・	B種	・植栽範囲 ・図示																																																																																																																															
樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲																																																																																																																															
・12以上	100	・A種	・葉挿りの範囲																																																																																																																															
・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																																																																															
・3以上~7未満	60	・C種	・図示																																																																																																																															
・3未満	50	・D種																																																																																																																																
2 舗装剥離	② グレーテング (21.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>適用荷重 (安全荷重 (kN))</th> <th>鍵</th> </tr> <tr> <td>・水封形</td> <td>・T- 2用 (5)</td> <td>・あり</td> </tr> <tr> <td>・簡易密閉形 (パッキン式)</td> <td>・T- 6用 (15)</td> <td>・なし</td> </tr> <tr> <td>・密閉形 (テーパ・パッキン式)</td> <td>・T-20用 (50)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	適用荷重 (安全荷重 (kN))	鍵	・水封形	・T- 2用 (5)	・あり	・簡易密閉形 (パッキン式)	・T- 6用 (15)	・なし	・密閉形 (テーパ・パッキン式)	・T-20用 (50)		・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)			23 植栽工事及び屋上緑化工事	① 植栽基盤整備 (23.2.2.3) (表23.2.1.2)	<table border="1"> <tr> <th>適 用</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>○行う ・行わない</td> <td>・</td> <td>B種</td> <td>・植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2.3) (表23.2.1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高 (m)</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>100</td> <td>・A種</td> <td>・葉挿りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>※現場発生土の良質土 ・客土 (・黒土 ・真砂土) (23.2.3)</p> <p>※適用する (23.2.3.4)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 ・図示</p> <p>パーク増肥 □</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 70%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない 窒素含量 (現物) : 0.5%以下 りん酸含量 (現物) : 0.2%以下 加里含量 (現物) : 0.1%以上</p> <p>発酵下水汚泥コンポスト □</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする</p> <p>ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 35%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20以下 pH : 8.5以下 水分 : 50%以下 窒素含量 (現物) : 0.8%以上 りん酸含量 (現物) : 1.0%以上 アルカリ分 (現物) : 15%以下</p> <p>4 支柱材 ※杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) □ (23.3.2)</p> <p>防腐処理方法 ※加圧式防腐処理 ・真竹 (良質な2年生以上)</p> <p>5 幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)</p> <p>⑥ 芝張り (23.4.2)</p> <p>種類 ※こらい芝 ・野芝 工法 ・目地張り ○た張り</p> <p>7 吹付けは種用種子等 ※洋芝類 ・クローバー ・図示</p> <p>8 地被類 ※コンテナ栽培品 (23.5.2.3)</p> <p>9 屋上緑化 □</p> <p>植栽基盤及び材料 (23.5.2.3)</p> <p>・屋上緑化システム</p> <p>土壌層の厚さ ・図示</p> <p>保水・排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成形品</p> <p>植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土</p> <p>樹木の樹種、寸法、株立数、数量等 ※図示</p> <p>・屋上緑化軽量システム</p> <p>芝及び地被類の種類等 ※図示</p> <p>工法 (23.5.4)</p> <p>支柱 ・設置する (種類 ・図示 ・)</p> <p>かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による)</p>	適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	○行う ・行わない	・	B種	・植栽範囲 ・図示	樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	・12以上	100	・A種	・葉挿りの範囲	・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	60	・C種	・図示	・3未満	50	・D種																																																																																			
種 類	適用荷重 (安全荷重 (kN))	鍵																																																																																																																																
・水封形	・T- 2用 (5)	・あり																																																																																																																																
・簡易密閉形 (パッキン式)	・T- 6用 (15)	・なし																																																																																																																																
・密閉形 (テーパ・パッキン式)	・T-20用 (50)																																																																																																																																	
・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)																																																																																																																																		
適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲																																																																																																																															
○行う ・行わない	・	B種	・植栽範囲 ・図示																																																																																																																															
樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲																																																																																																																															
・12以上	100	・A種	・葉挿りの範囲																																																																																																																															
・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																																																																															
・3以上~7未満	60	・C種	・図示																																																																																																																															
・3未満	50	・D種																																																																																																																																
④ 埋戻し土	④ 埋戻し土 (21.2.3) (表3.2.1)	種別 ※B種	23 植栽工事及び屋上緑化工事	① 植栽基盤整備 (23.2.2.3) (表23.2.1.2)	<table border="1"> <tr> <th>適 用</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>○行う ・行わない</td> <td>・</td> <td>B種</td> <td>・植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2.3) (表23.2.1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高 (m)</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>100</td> <td>・A種</td> <td>・葉挿りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>※現場発生土の良質土 ・客土 (・黒土 ・真砂土) (23.2.3)</p> <p>※適用する (23.2.3.4)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 ・図示</p> <p>パーク増肥 □</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 70%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない 窒素含量 (現物) : 0.5%以下 りん酸含量 (現物) : 0.2%以下 加里含量 (現物) : 0.1%以上</p> <p>発酵下水汚泥コンポスト □</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする</p> <p>ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 35%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20以下 pH : 8.5以下 水分 : 50%以下 窒素含量 (現物) : 0.8%以上 りん酸含量 (現物) : 1.0%以上 アルカリ分 (現物) : 15%以下</p> <p>4 支柱材 ※杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) □ (23.3.2)</p> <p>防腐処理方法 ※加圧式防腐処理 ・真竹 (良質な2年生以上)</p> <p>5 幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)</p> <p>⑥ 芝張り (23.4.2)</p> <p>種類 ※こらい芝 ・野芝 工法 ・目地張り ○た張り</p> <p>7 吹付けは種用種子等 ※洋芝類 ・クローバー ・図示</p> <p>8 地被類 ※コンテナ栽培品 (23.5.2.3)</p> <p>9 屋上緑化 □</p> <p>植栽基盤及び材料 (23.5.2.3)</p> <p>・屋上緑化システム</p> <p>土壌層の厚さ ・図示</p> <p>保水・排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成形品</p> <p>植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土</p> <p>樹木の樹種、寸法、株立数、数量等 ※図示</p> <p>・屋上緑化軽量システム</p> <p>芝及び地被類の種類等 ※図示</p> <p>工法 (23.5.4)</p> <p>支柱 ・設置する (種類 ・図示 ・)</p> <p>かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による)</p>	適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	○行う ・行わない	・	B種	・植栽範囲 ・図示	樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	・12以上	100	・A種	・葉挿りの範囲	・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	60	・C種	・図示	・3未満	50	・D種																																																																																																		
適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法		整備範囲																																																																																																																														
○行う ・行わない	・	B種		・植栽範囲 ・図示																																																																																																																														
樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法		整備範囲																																																																																																																														
・12以上	100	・A種	・葉挿りの範囲																																																																																																																															
・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																																																																															
・3以上~7未満	60	・C種	・図示																																																																																																																															
・3未満	50	・D種																																																																																																																																
特記事項			23 植栽工事及び屋上緑化工事	① 植栽基盤整備 (23.2.2.3) (表23.2.1.2)	<table border="1"> <tr> <th>適 用</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>○行う ・行わない</td> <td>・</td> <td>B種</td> <td>・植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2.3) (表23.2.1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高 (m)</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>100</td> <td>・A種</td> <td>・葉挿りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>※現場発生土の良質土 ・客土 (・黒土 ・真砂土) (23.2.3)</p> <p>※適用する (23.2.3.4)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 ・図示</p> <p>パーク増肥 □</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 70%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない 窒素含量 (現物) : 0.5%以下 りん酸含量 (現物) : 0.2%以下 加里含量 (現物) : 0.1%以上</p> <p>発酵下水汚泥コンポスト □</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする</p> <p>ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下</p> <p>有機物の含有率 (乾物) : 35%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20以下 pH : 8.5以下 水分 : 50%以下 窒素含量 (現物) : 0.8%以上 りん酸含量 (現物) : 1.0%以上 アルカリ分 (現物) : 15%以下</p> <p>4 支柱材 ※杉、ひのき又はから松 (皮はぎもの、間伐材) □ (23.3.2)</p> <p>防腐処理方法 ※加圧式防腐処理 ・真竹 (良質な2年生以上)</p> <p>5 幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)</p> <p>⑥ 芝張り (23.4.2)</p> <p>種類 ※こらい芝 ・野芝 工法 ・目地張り ○た張り</p> <p>7 吹付けは種用種子等 ※洋芝類 ・クローバー ・図示</p> <p>8 地被類 ※コンテナ栽培品 (23.5.2.3)</p> <p>9 屋上緑化 □</p> <p>植栽基盤及び材料 (23.5.2.3)</p> <p>・屋上緑化システム</p> <p>土壌層の厚さ ・図示</p> <p>保水・排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成形品</p> <p>植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土</p> <p>樹木の樹種、寸法、株立数、数量等 ※図示</p> <p>・屋上緑化軽量システム</p> <p>芝及び地被類の種類等 ※図示</p> <p>工法 (23.5.4)</p> <p>支柱 ・設置する (種類 ・図示 ・)</p> <p>かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による)</p>	適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	○行う ・行わない	・	B種	・植栽範囲 ・図示	樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	・12以上	100	・A種	・葉挿りの範囲	・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	60	・C種	・図示	・3未満	50	・D種																																																																																																		
適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法		整備範囲																																																																																																																														
○行う ・行わない	・	B種		・植栽範囲 ・図示																																																																																																																														
樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法		整備範囲																																																																																																																														
・12以上	100	・A種	・葉挿りの範囲																																																																																																																															
・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																																																																															
・3以上~7未満	60	・C種	・図示																																																																																																																															
・3未満	50	・D種																																																																																																																																

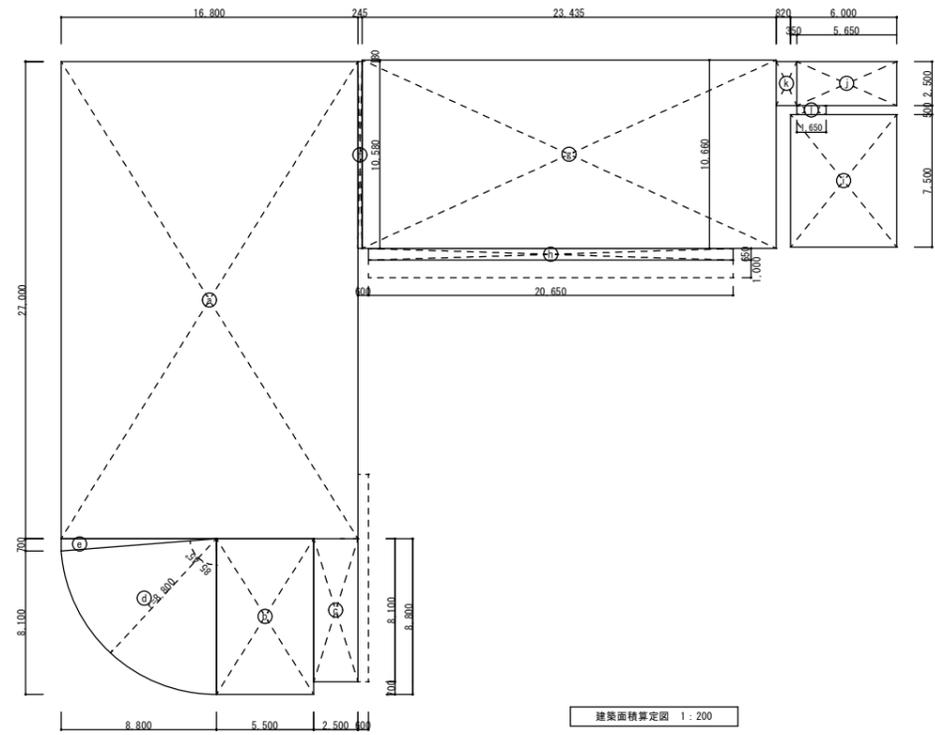


求積図 1 : 200

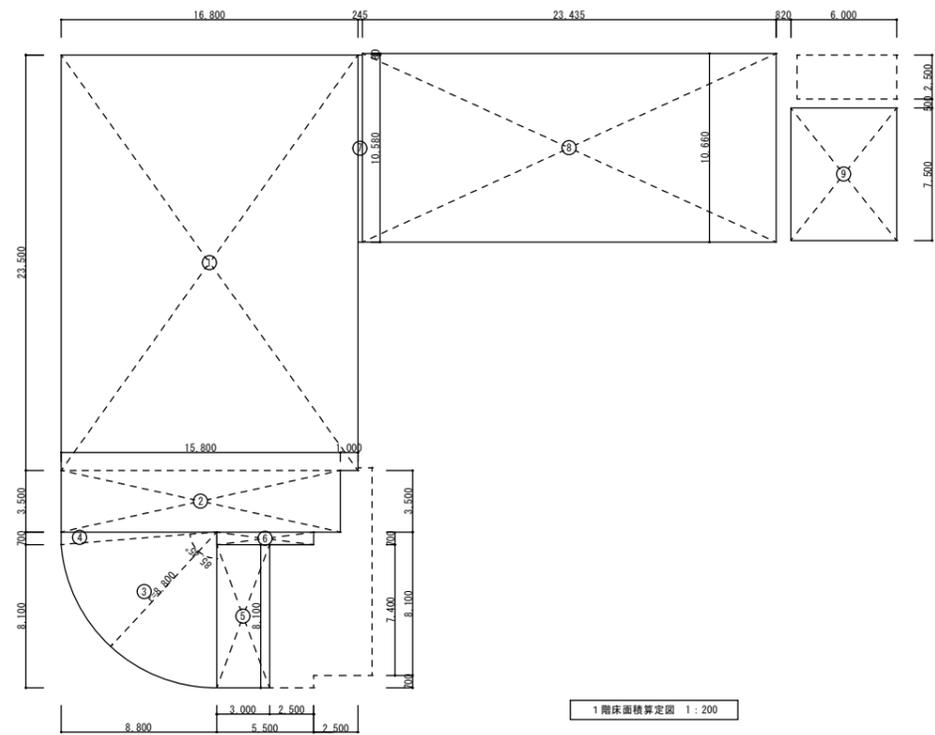
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	24.408	3.959	96.631272	48.3156360
2	26.056	3.010	78.428560	39.2142800
3	16.637	0.221	3.676777	1.8383885
4	27.563	2.808	77.396904	38.6984520
5	41.900	8.777	367.756300	183.8781500
6	41.915	4.794	200.940510	100.4702550
7	41.915	10.917	457.586055	228.7930275
8	45.618	17.871	815.239278	407.6196390
9	41.900	11.731	491.528900	245.7644500
10	43.555	8.179	356.236345	178.1181725
11	45.618	18.612	849.042216	424.5211080
12	43.555	4.631	201.703205	100.8516025
合 計				1,998.0831610
準住居地域 敷地面積				1,998.08 m ²
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
13	43.304	2.789	120.774856	60.3874280
14	43.304	9.891	428.319864	214.1599320
合 計				274.5473600
第一種低層住居専用地域 敷地面積				274.54 m ²
敷地面積 合計				2,272.62 m ²



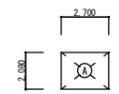
2階床面積算定図 1:200



建築面積算定図 1:200



1階床面積算定図 1:200



別棟(燃料貯蔵庫)面積算定図 1:200

1階床面積	
①	23.500 × 16.800 = 394.800
②	3.500 × 15.800 = 55.300
③	8.800 × 8.800 × 3.14 × 85.45/360 = 57.7171
④	0.700 × 8.800 × 1/2 = 3.0800
⑤	8.100 × 3.000 = 24.3000
⑥	0.700 × 5.500 = 3.8500
⑦	10.580 × 0.245 = 2.5920
⑧	10.660 × 23.435 = 249.8171
⑨	7.500 × 6.000 = 45.0000
小計	836.4562 m²
⑩	2.080 × 2.700 = 5.6160 m²
小計(別棟)	5.61 m²
合計	842.06 m²

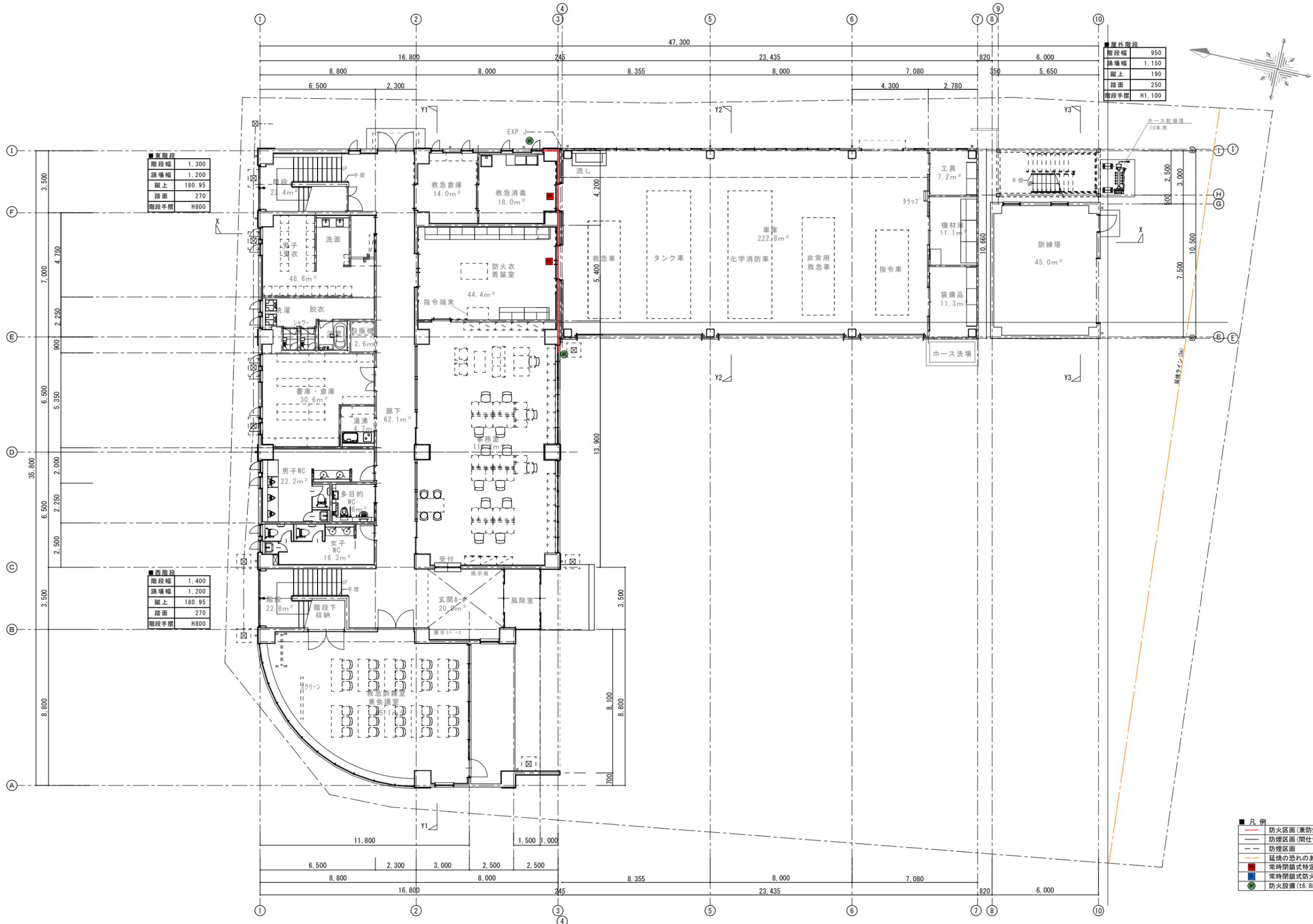
2階床面積	
①	7.000 × 8.800 = 61.6000
②	16.500 × 14.800 = 244.2000
③	3.500 × 9.350 = 32.7250
④	8.800 × 8.800 × 3.14 × 85.45/360 = 57.7171
⑤	0.700 × 8.800 × 1/2 = 3.0800
⑥	8.100 × 3.000 = 24.3000
⑦	8.100 × 0.500 = 4.0500
⑧	2.000 × 1.500 = 3.0000
⑨	10.580 × 0.245 = 2.5921
⑩	1.750 × 23.435 = 41.0112
⑪	8.910 × 2.780 = 24.7698
⑫	7.500 × 4.500 = 33.7500
小計	532.7952 m²
合計	532.79 m²

建築面積	
①	27.000 × 16.800 = 453.6000
②	8.800 × 5.500 = 48.4000
③	8.100 × 2.500 = 20.2500
④	8.800 × 8.800 × 3.14 × 85.45/360 = 57.7171
⑤	0.700 × 8.800 × 1/2 = 3.0800
⑥	10.580 × 0.245 = 2.5921
⑦	10.660 × 23.435 = 249.8171
⑧	0.650 × 20.650 = 13.4225
⑨	7.500 × 6.000 = 45.0000
⑩	2.500 × 5.650 = 14.1250
⑪	2.500 × 1.170 = 2.9250
⑫	0.500 × 1.650 = 0.8250
小計	911.7538 m²
⑬	2.080 × 2.700 = 5.6160 m²
小計(別棟)	5.61 m²
合計	917.36 m²

面積表 ※外部階段は床面積算定に不参入、施工面積に参入 (単位: m²)						
	事務所棟	車庫棟	訓練棟	外部階段	EXP. J	合計
建築面積	a~e 583.05	g h 263.24	i 45.00	j 17.87	f 2.59	911.75
1階床面積	①~⑥ 539.05	⑧ 249.81	⑩ 45.00	j (14.12)	7 2.59	836.45
2階床面積	①~③ 430.67	⑨⑩ 65.78	⑫ 33.75	i (14.12)	9 2.59	532.79
延べ床面積	969.72	314.60	78.75		5.18	1,369.24
施工床面積				(28.24)		(1,397.48)

面積表 (別当含む) (単位: m²)	
別棟(燃料貯蔵庫)	合計(別当含む)
A 5.61	917.36
A 5.61	842.06
	532.79
5.61	1,374.85
5.61	(1,403.09)

特記事項
 図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10



■東階段

階段幅	1,300
踊場幅	1,200
蹴上	180.95
踏面	270
階段手摺	H800

■西階段

階段幅	1,400
踊場幅	1,200
蹴上	180.95
踏面	270
階段手摺	H800

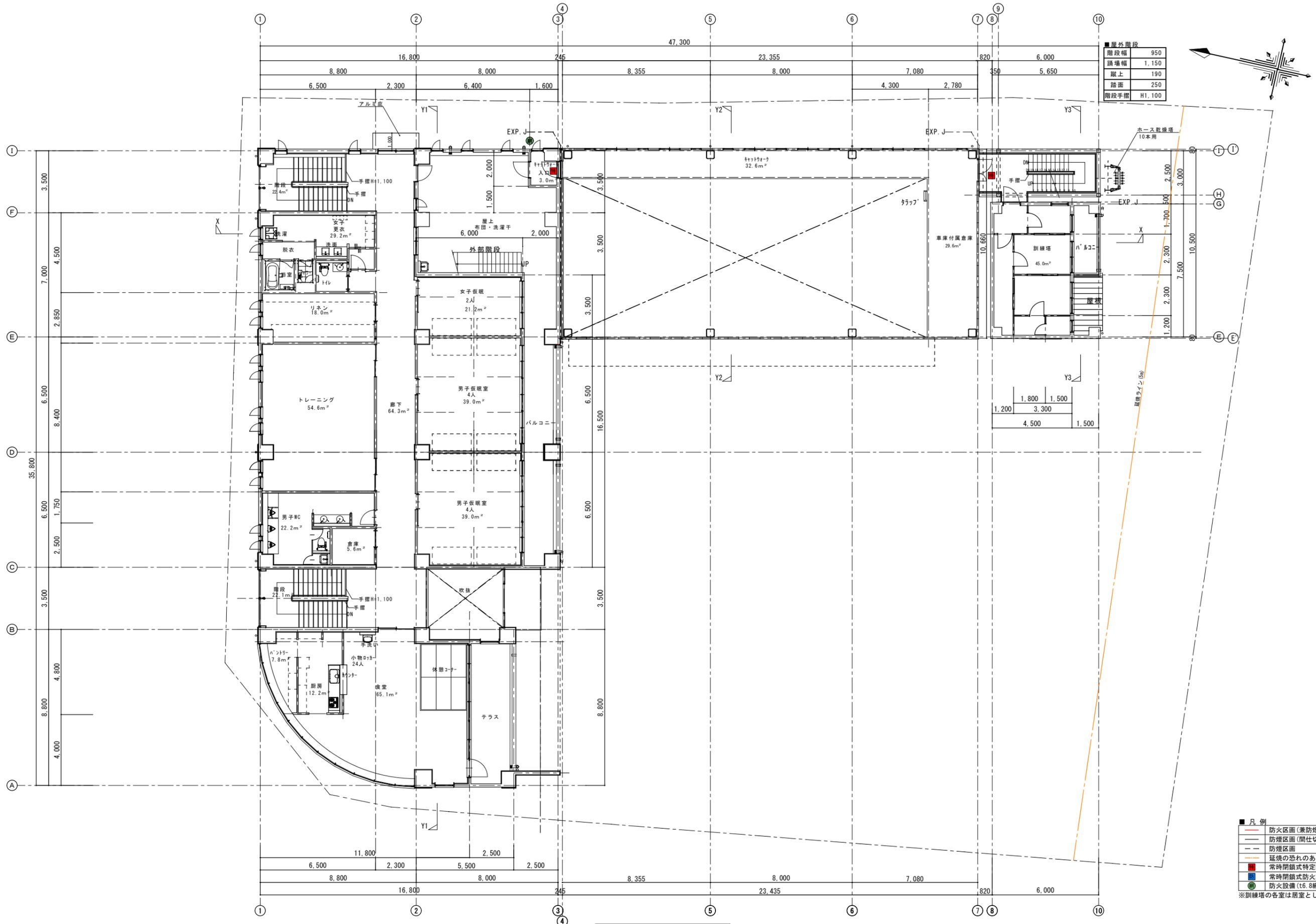
■屋外階段

階段幅	950
踊場幅	1,150
蹴上	190
踏面	250
階段手摺	H1,100

■凡例

	防火区画(兼防煙区画)
	防煙区画(間仕切壁)
	防煙区画
	延焼の恐れのある部分
	常時閉鎖式特定防火設備
	常時閉鎖式防火設備
	防火設備(t6.8網入がす)

1階平面図 1:100

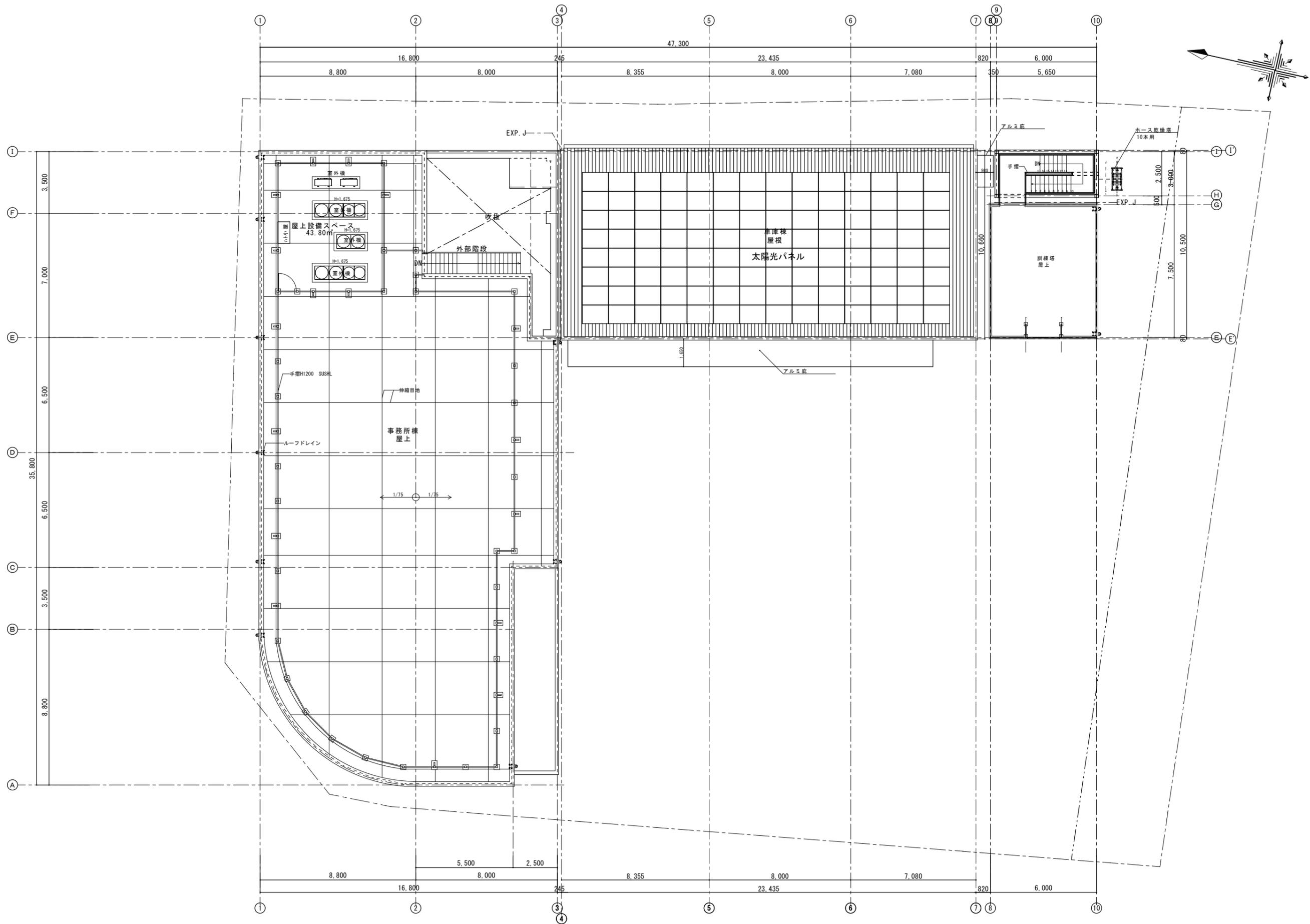


■ 屋外階段	
階段幅	950
踊り場幅	1,150
蹴上	190
踏面	250
階段手摺	H1,100

1.800	1.500
1.200	3.300
4.500	1.500

2階平面図 1:100

- 凡例
- 防火区画(兼防煙区画)
 - 防煙区画(間仕切壁)
 - 防煙区画
 - 延焼の恐れのある部分
 - 常時閉鎖式特定防火設備
 - 常時閉鎖式防火設備
 - 防火設備(16.8納入が)※
- ※訓練塔の各室は居室として使用しない。



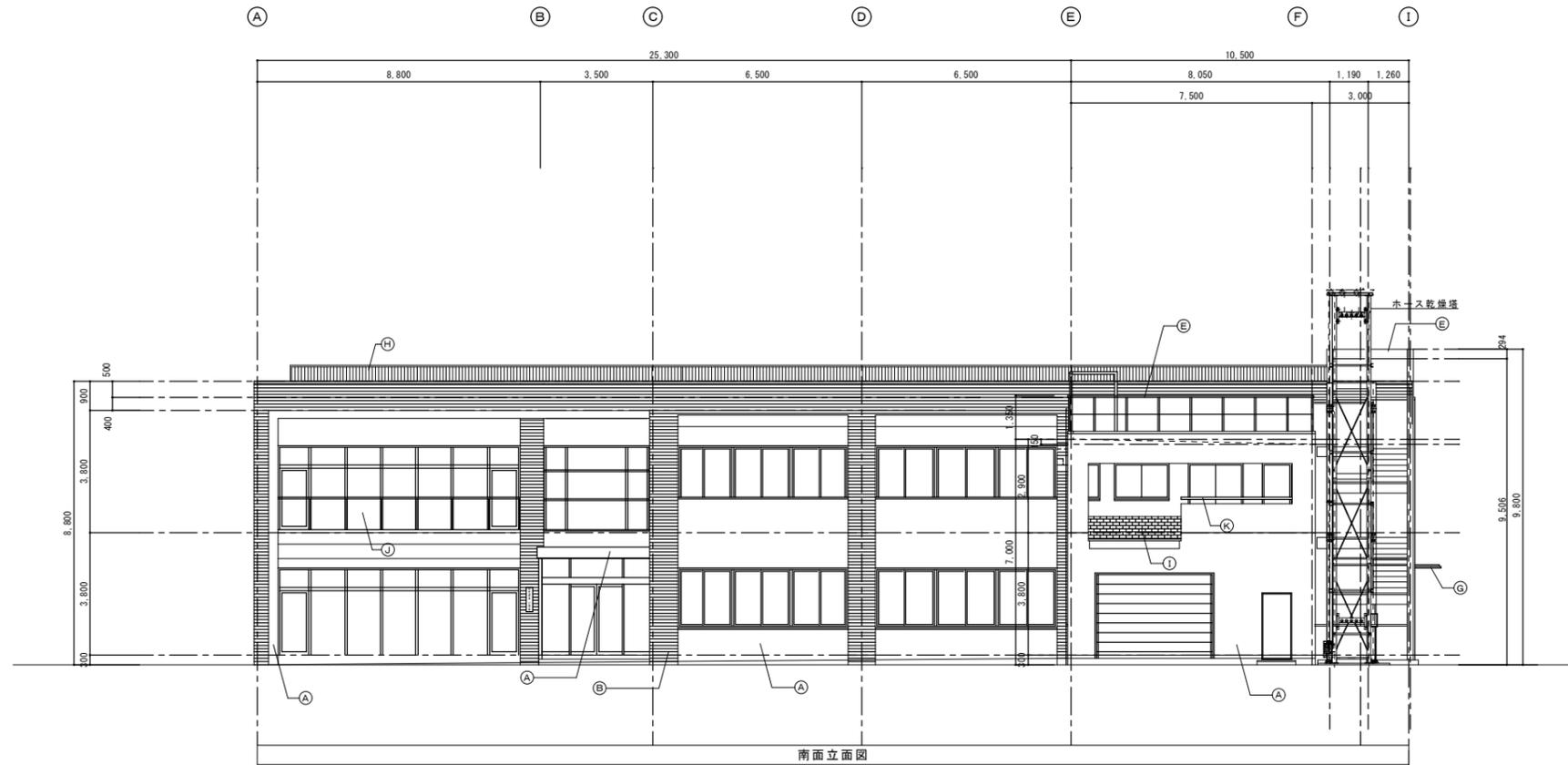
屋根伏図 1 : 100

特記事項

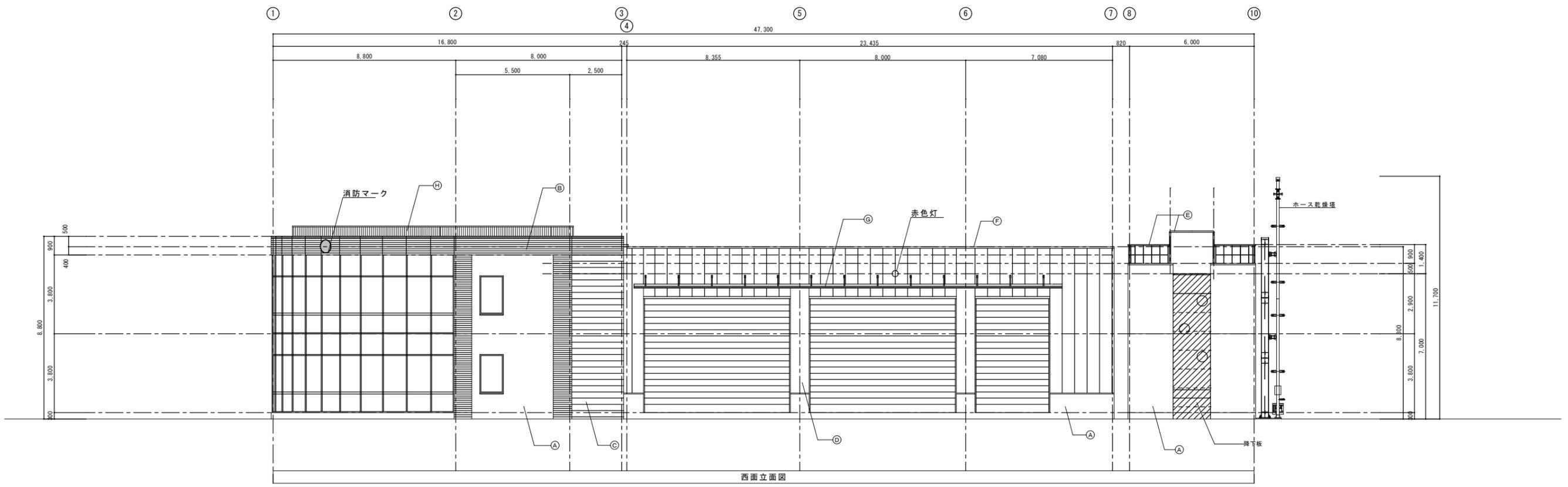
図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/100	図面名称	R階平面図	15	

仕上表	
Ⓐ	コンクリート化粧打放し シラフツ素仕上材吹付
Ⓑ	ﾌﾞﾗｯｸﾀｲﾙ(せつ器質)張り
Ⓒ	大判ﾀｲﾙ(磁器質)張り
Ⓓ	ALC 超耐候・超低汚染型変性無機塗料吹付
Ⓔ	鉄骨部材及び手すり 溶融亜鉛メッキ
Ⓕ	ﾌﾞﾗｯｸﾀｲﾙ
Ⓖ	ﾌﾞﾗｯｸﾀｲﾙ
Ⓗ	SUSﾌﾟﾗﾝｸ
Ⓘ	瓦葺
Ⓚ	ｽﾀｲﾙ手摺(SUSHL種)
Ⓛ	SUSﾌﾞﾗｯｸﾀｲﾙ



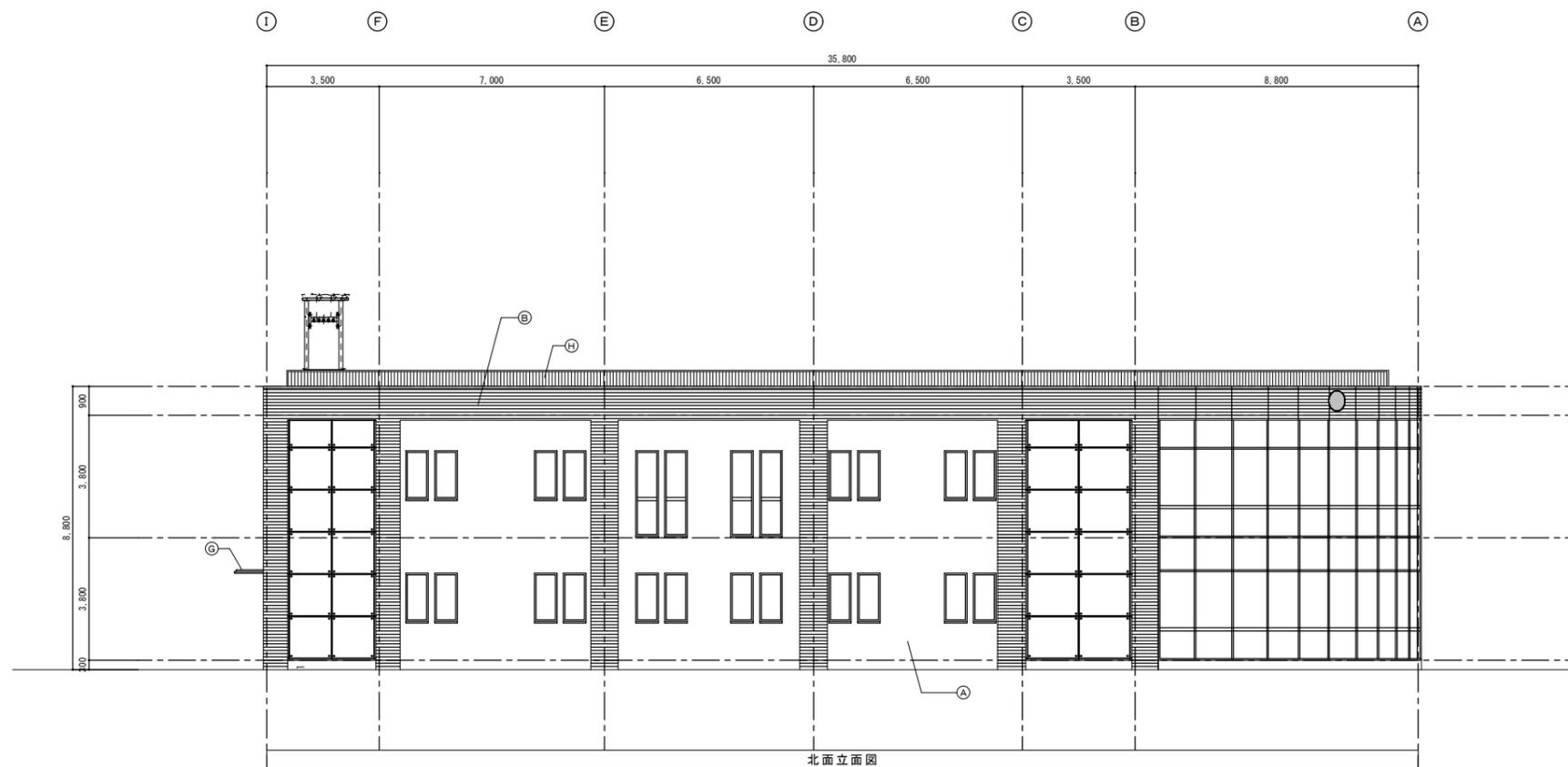
南面立面図



西面立面図

特記事項	承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える 例:1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10				縮尺	1/100	図面名称	立面図 1		16

仕上表	
Ⓐ	コンクリート化粧打放し シラン珪素仕上材吹付
Ⓑ	アクリル樹脂(せっ葛質)張り
Ⓒ	大判タイル(磁器質)張り
Ⓓ	ALC 超耐候・超低汚染型変性無機塗料吹付
Ⓔ	鉄骨部材及び手すり 溶融亜鉛メッキ
Ⓕ	7<sup>mm</sup>杉木
Ⓖ	7<sup>mm</sup>庇
Ⓗ	SUSフッ素
Ⓘ	瓦葺
Ⓛ	ガラス手摺 (SUS<sup>H</sup>種)
Ⓚ	SUS手摺

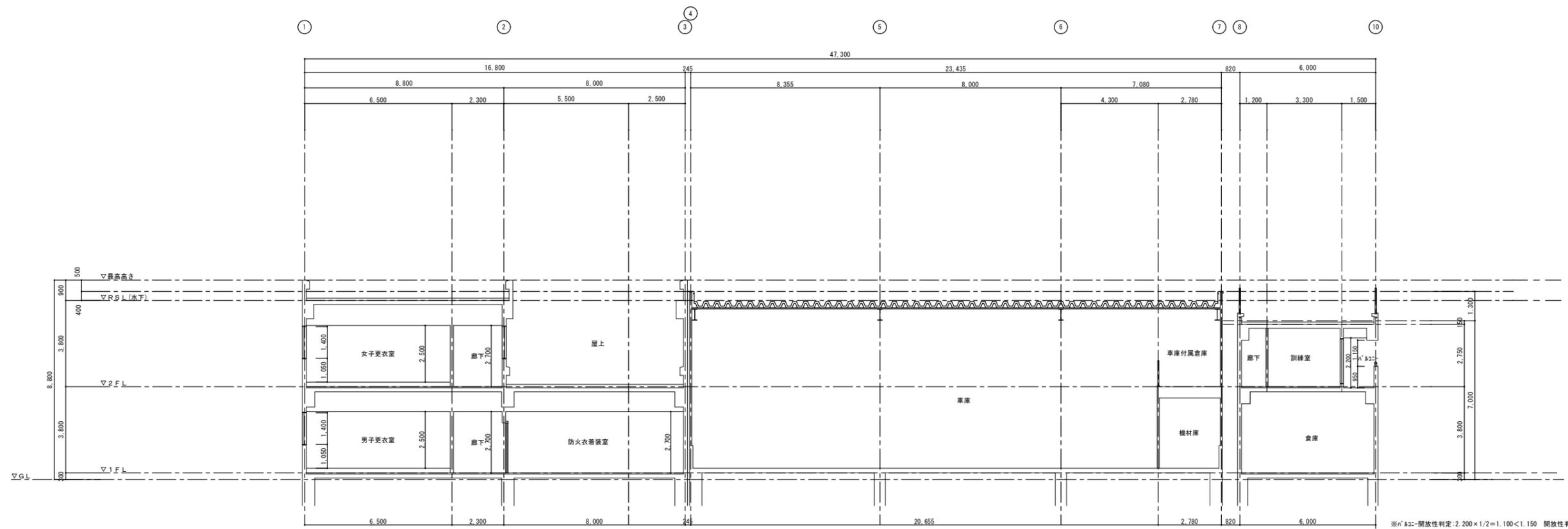


北面立面図



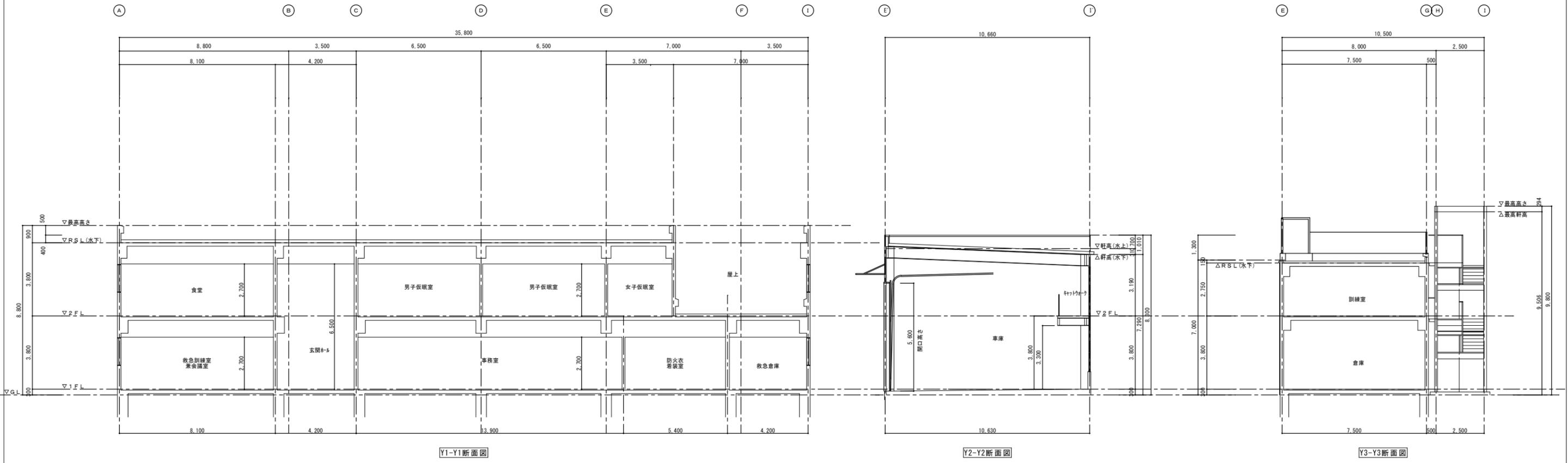
東面立面図

特記事項	承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える 例:1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10				縮尺	1/100	図面名称	立面図2		17



X-X断面図

※n/2<-開放性判定: 2,200 × 1/2 = 1,100 < 1,150 開放性有

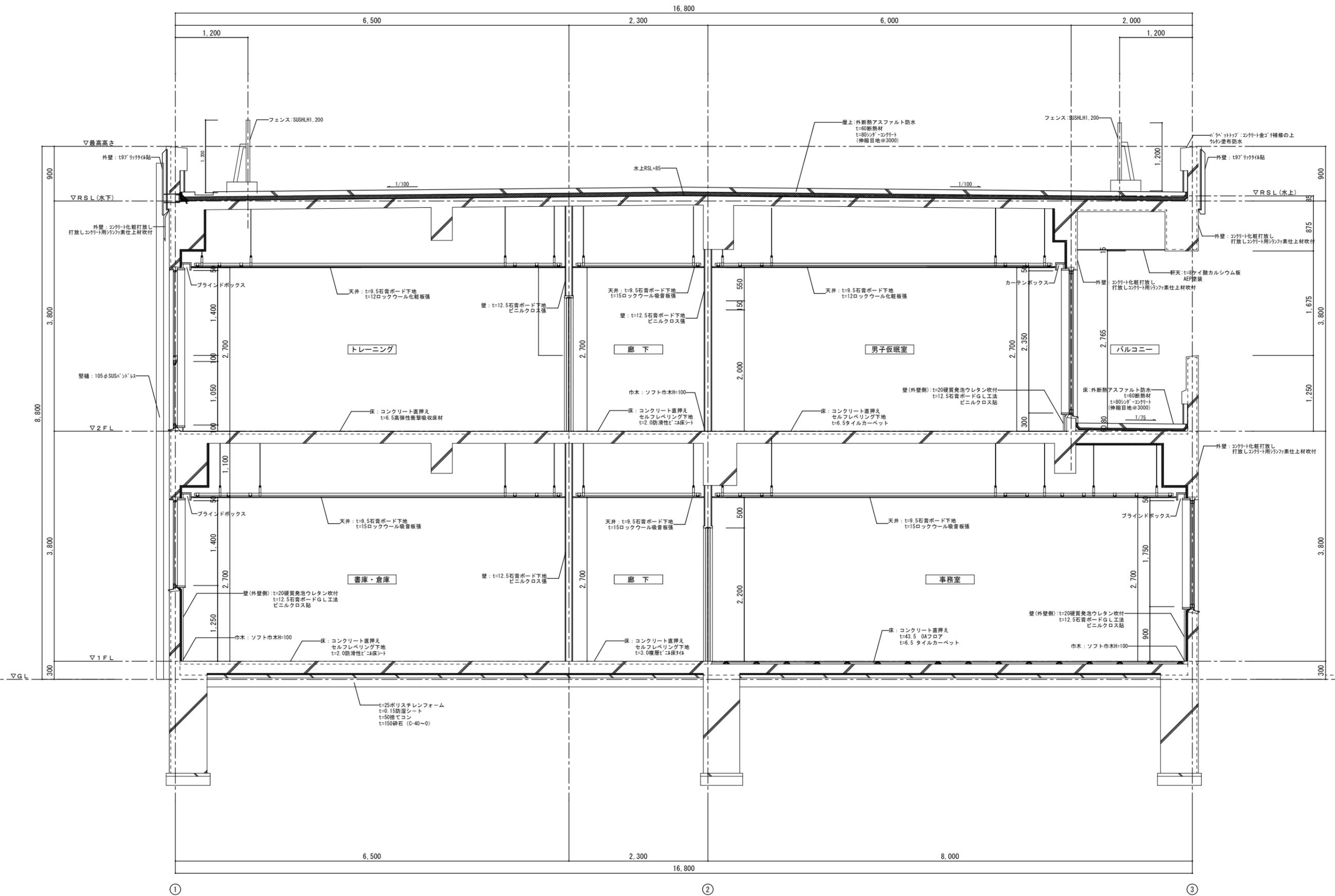


Y1-Y1断面図

Y2-Y2断面図

Y3-Y3断面図

特記事項	承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10				縮尺	1/100	図面名称	断面図		18

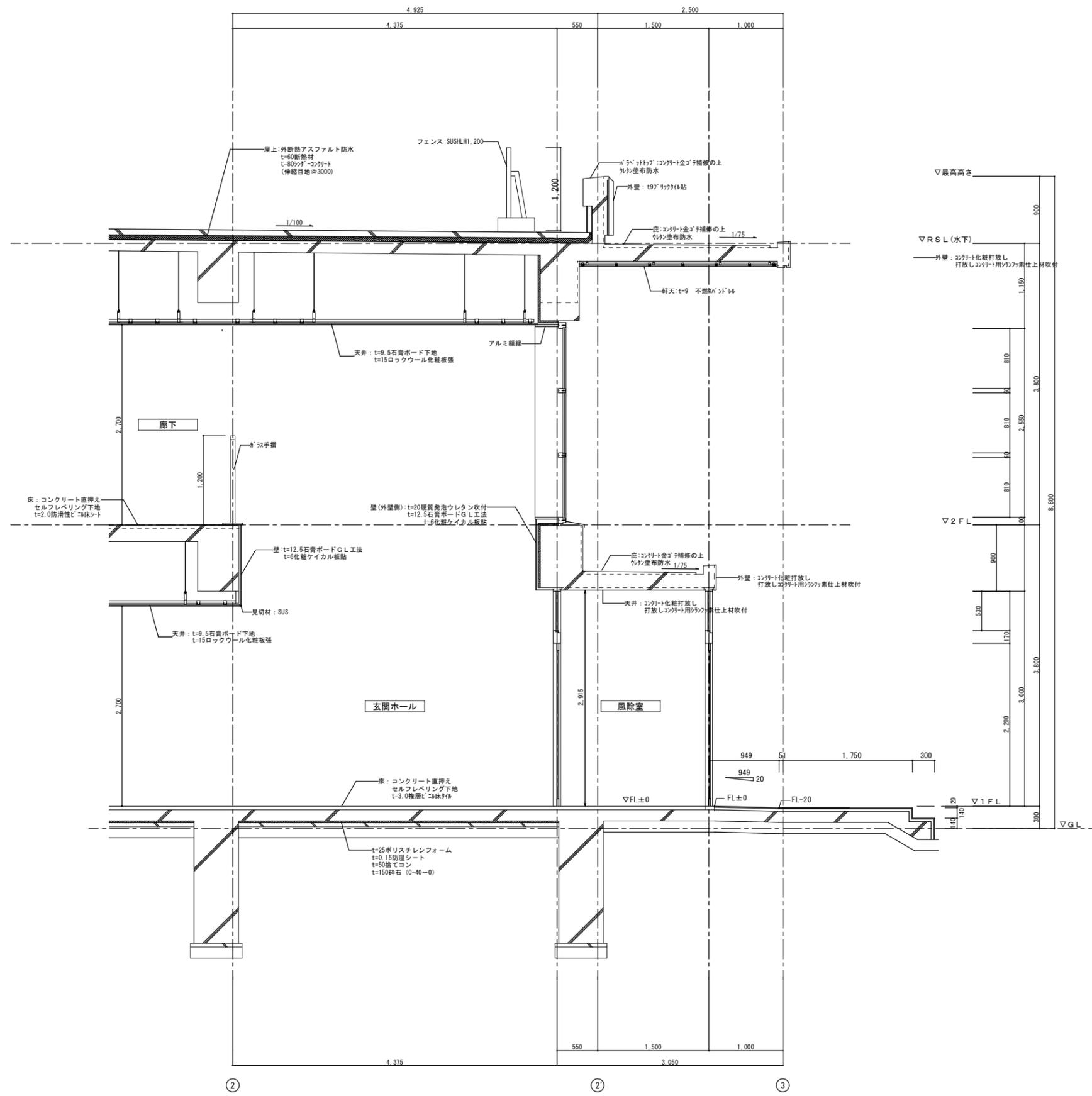
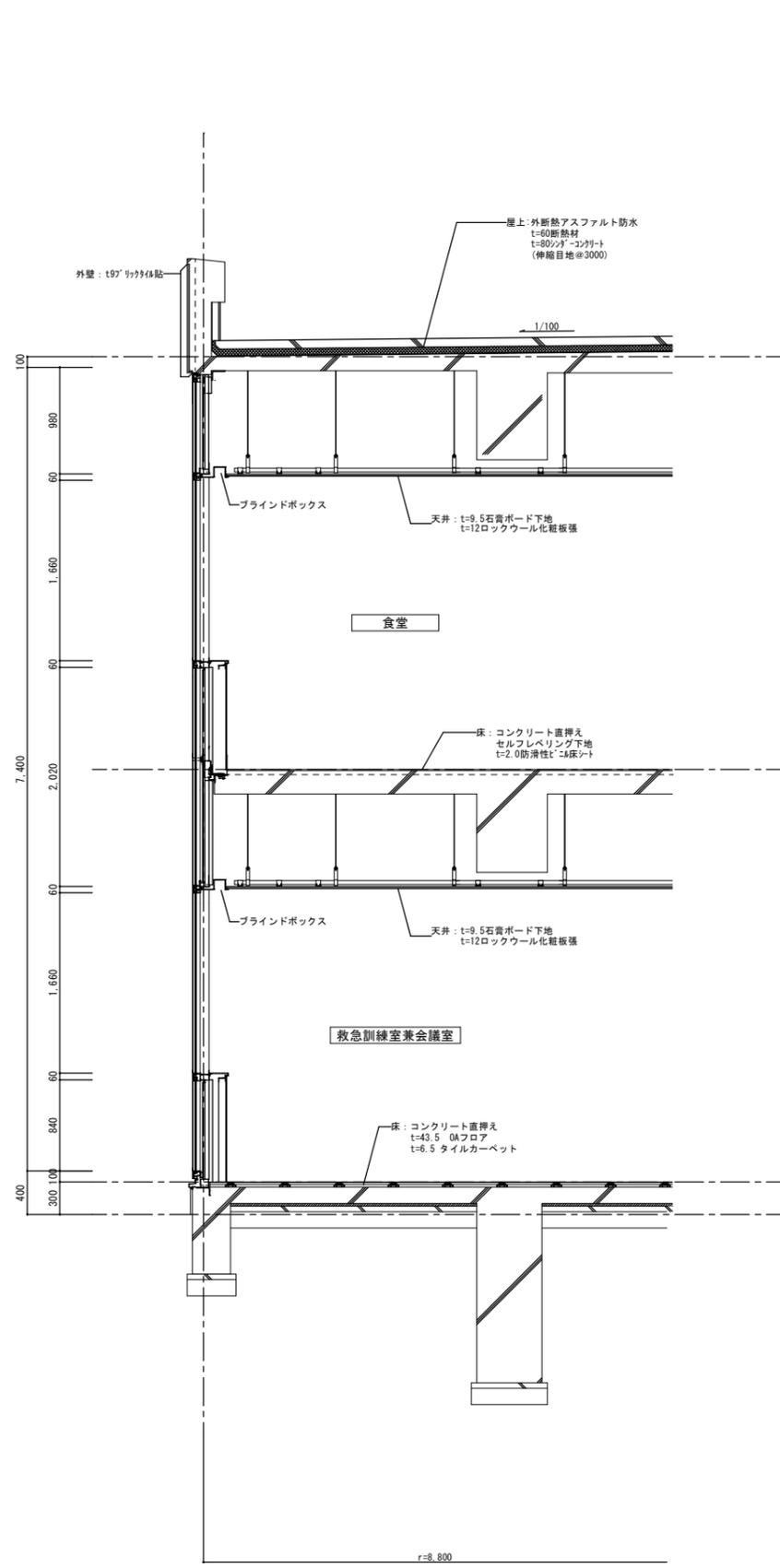


特記事項

図面サイズはA 1とする。図面サイズがA 3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える

例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10

承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号
			縮尺	1/30	図面名称	矩計図 (1)	A / 19

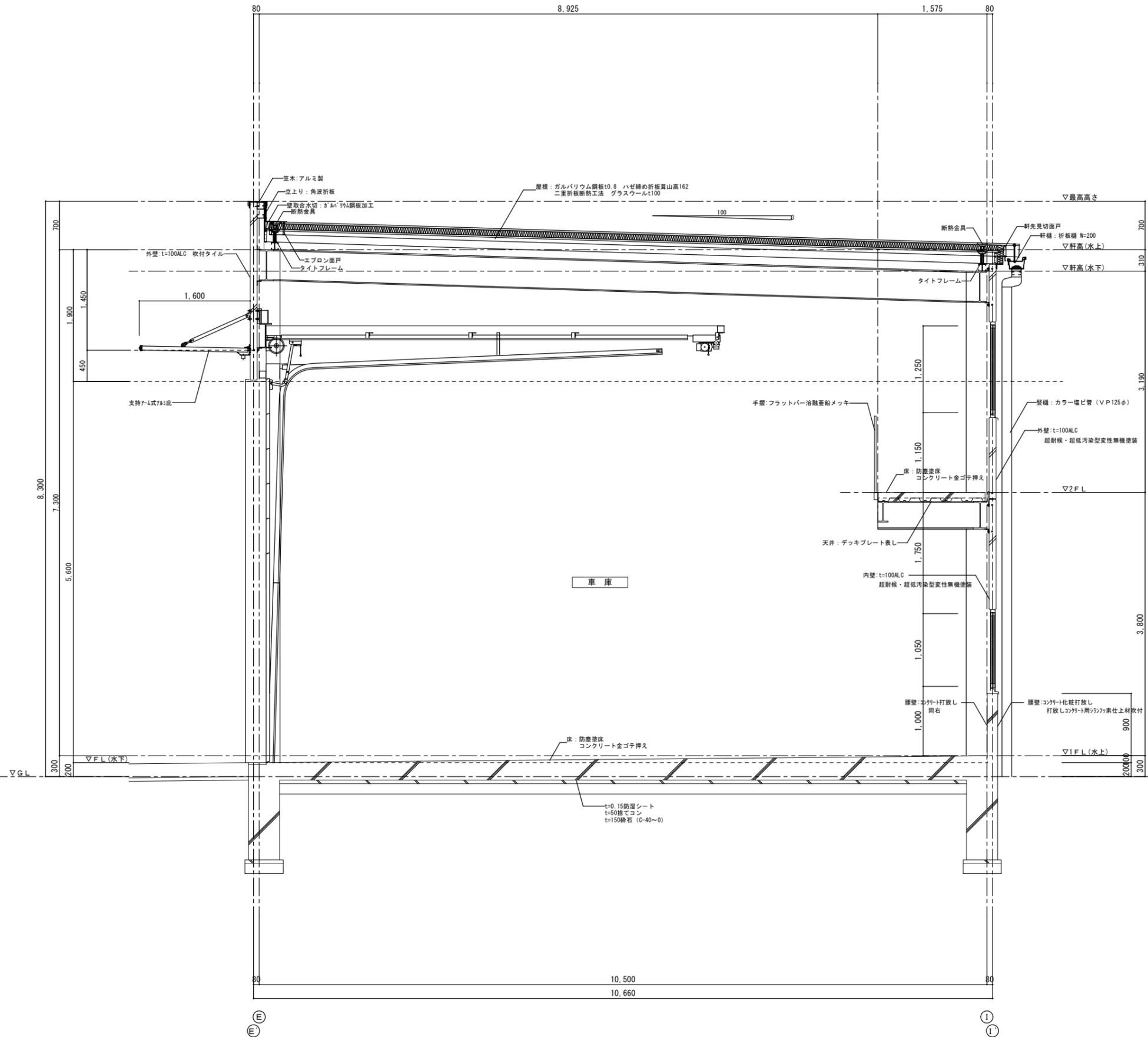


特記事項

図面サイズはA 1とする。図面サイズがA 3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える

例: 1/50-1/100, 1/100-1/200, 1/200-1/400, 1/30-1/60, 1/20-1/40, 1/10-1/20, 1/5-1/10

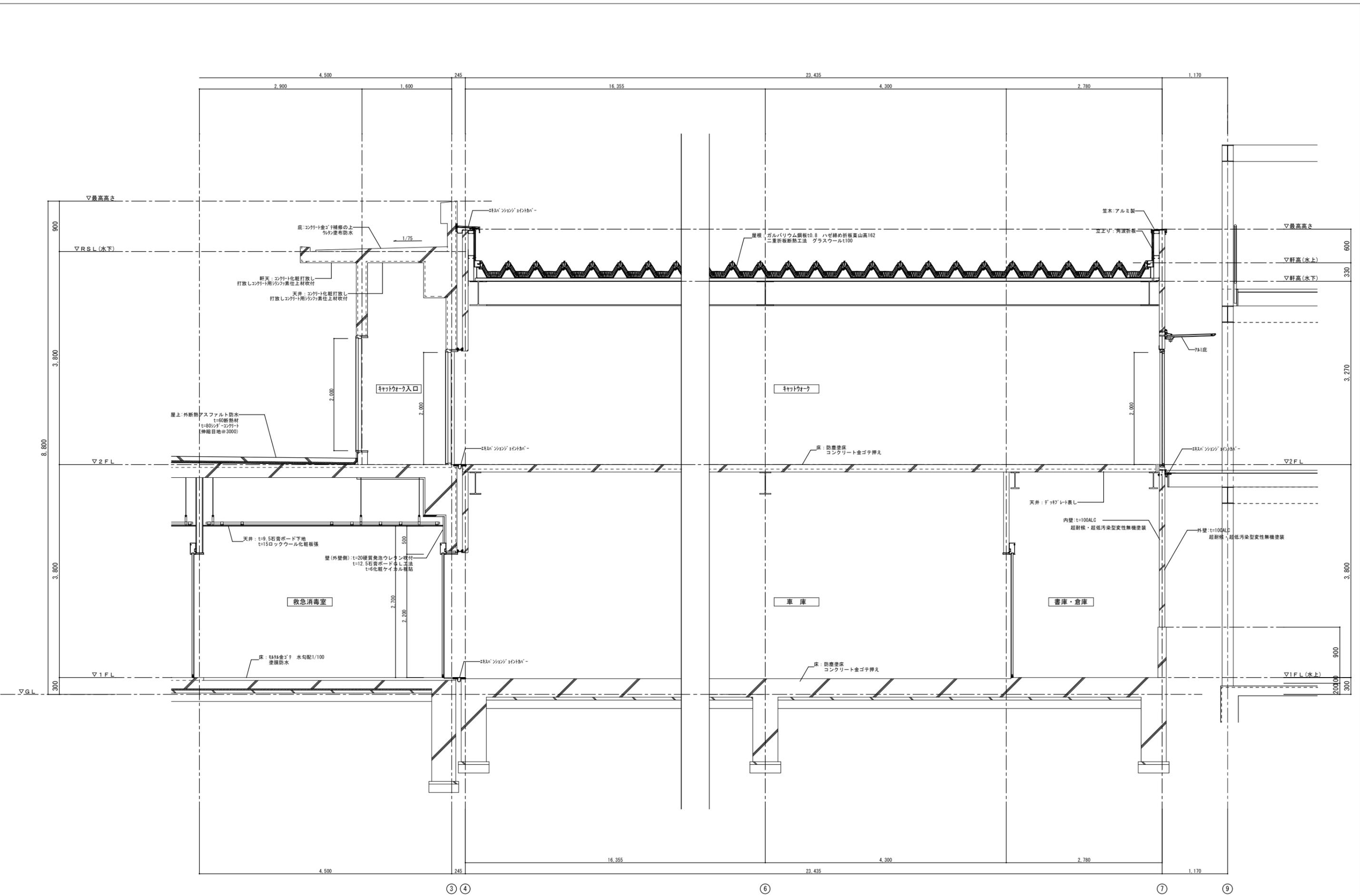
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/30	図面名称	短計図 (2)		20



特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10

承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/30	図面名称	矩計図 (3)		21



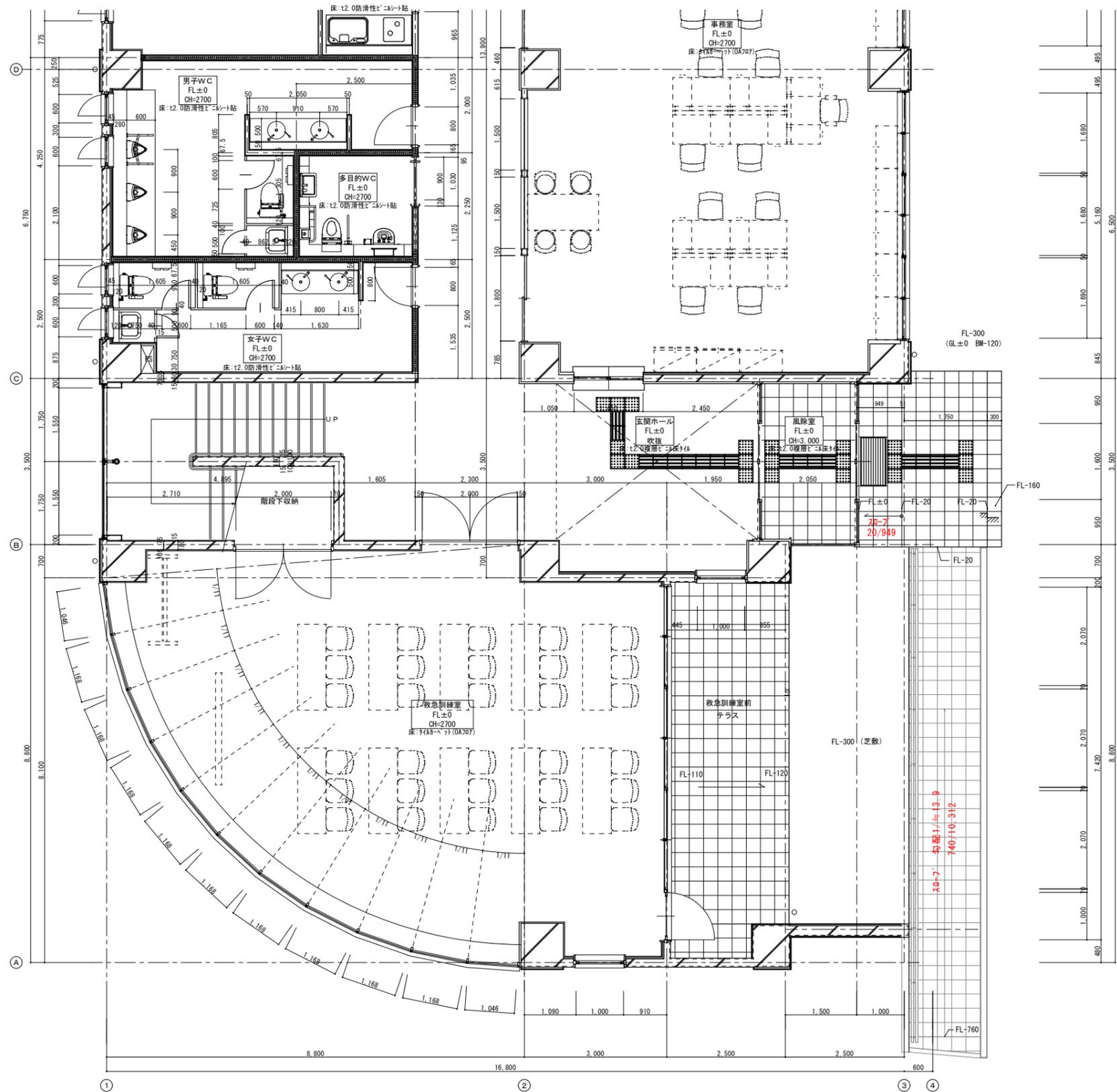
特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/300→1/600, 1/200→1/400, 1/100→1/200, 1/50→1/100

承認	担当	製図	年月日	2018.10
			縮尺	1/30

工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事
図面名称	矩計図 (5)

図面番号	A
	23



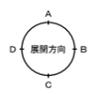
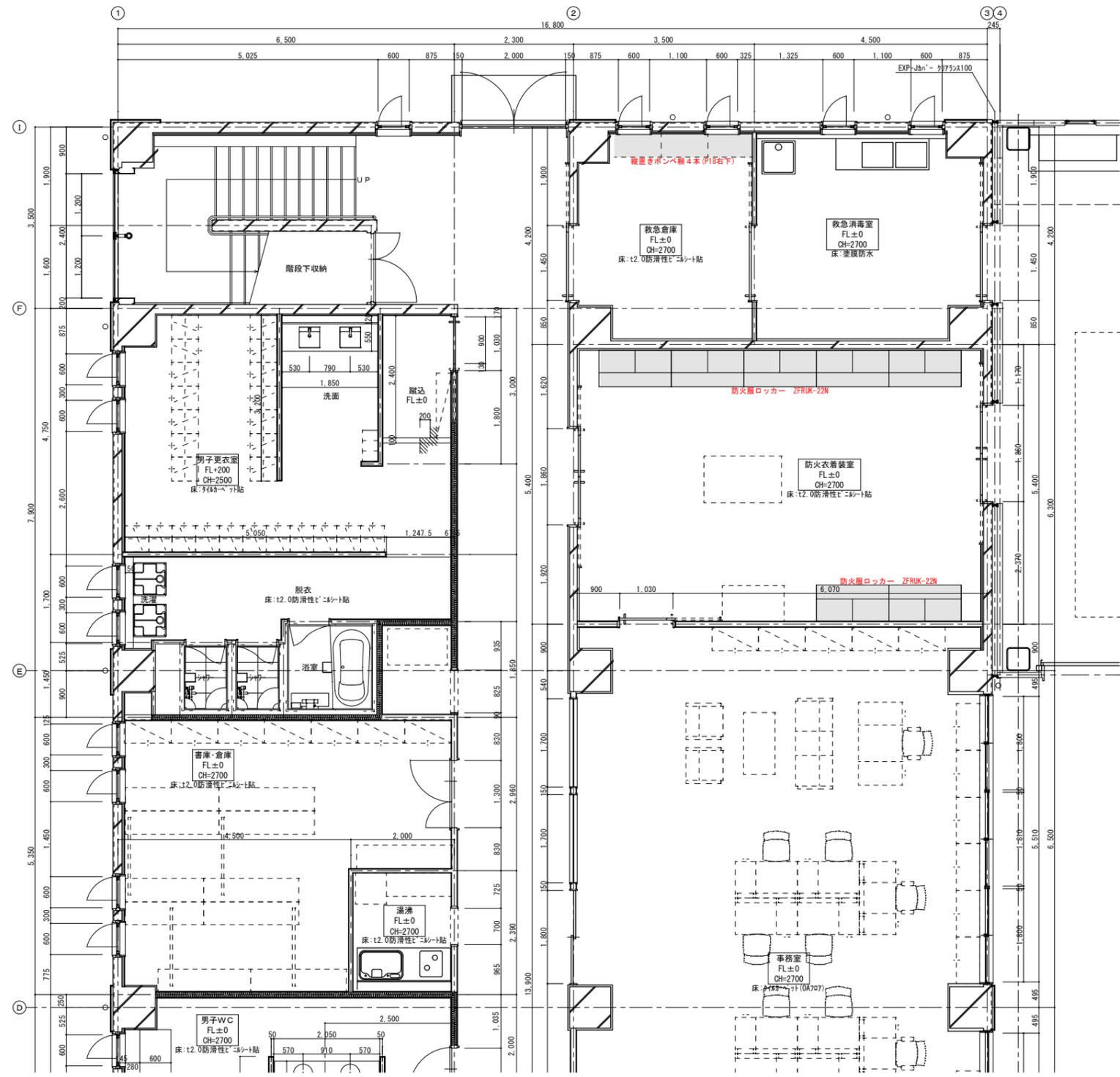
レベル表		
FL	GL	BM
±0	+300	+180
-20	+280	+160
-160	+140	+20
-60	+240	+120
-110	+190	+70
-120	+180	+60
-300	±0	-120
-760	-460	-580



特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10

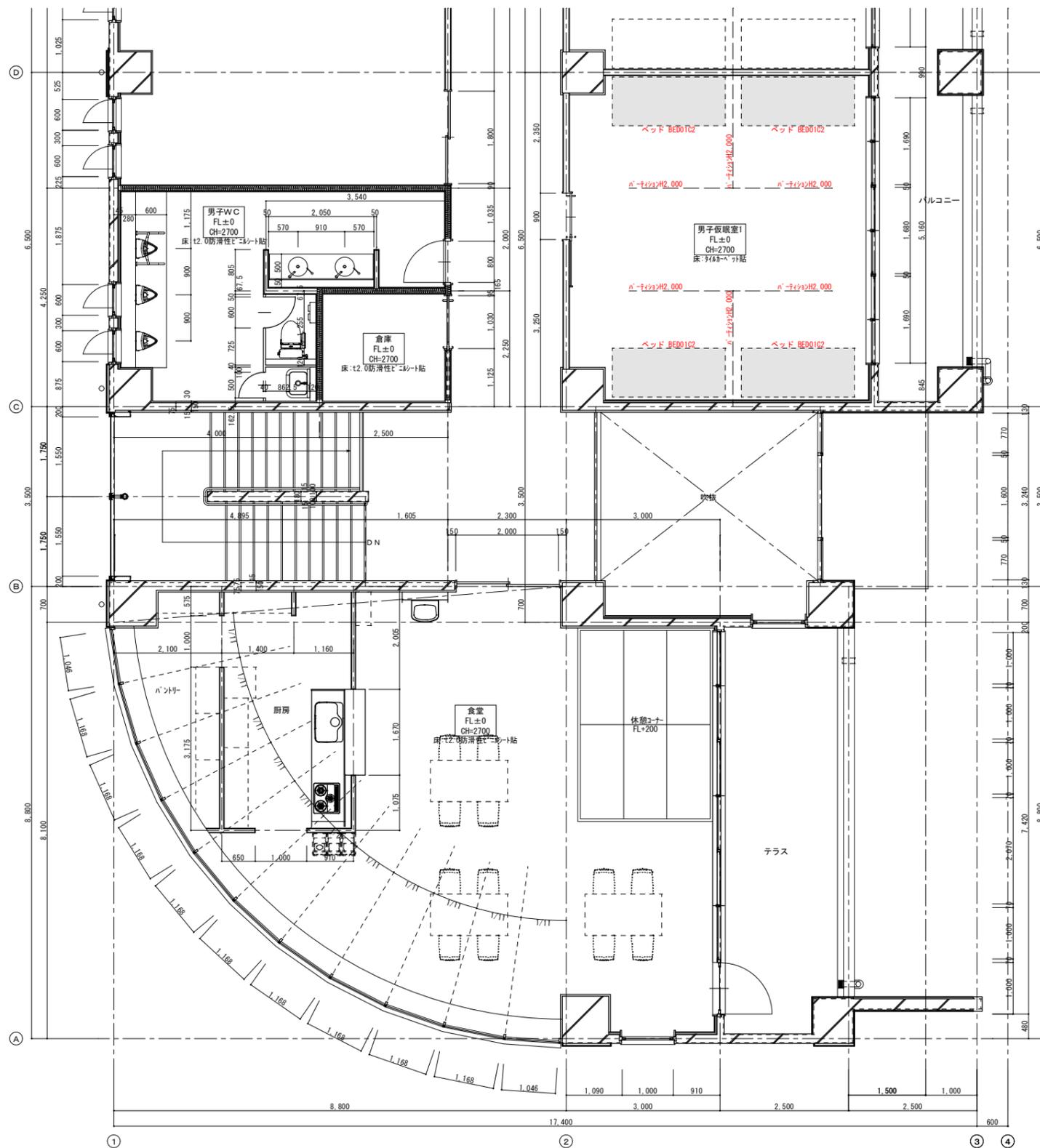
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/50	図面名称	事務所棟 1階平面詳細図(1)	24	



特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/50	図面名称	事務所棟 1階平面詳細図(2)		25



特記事項

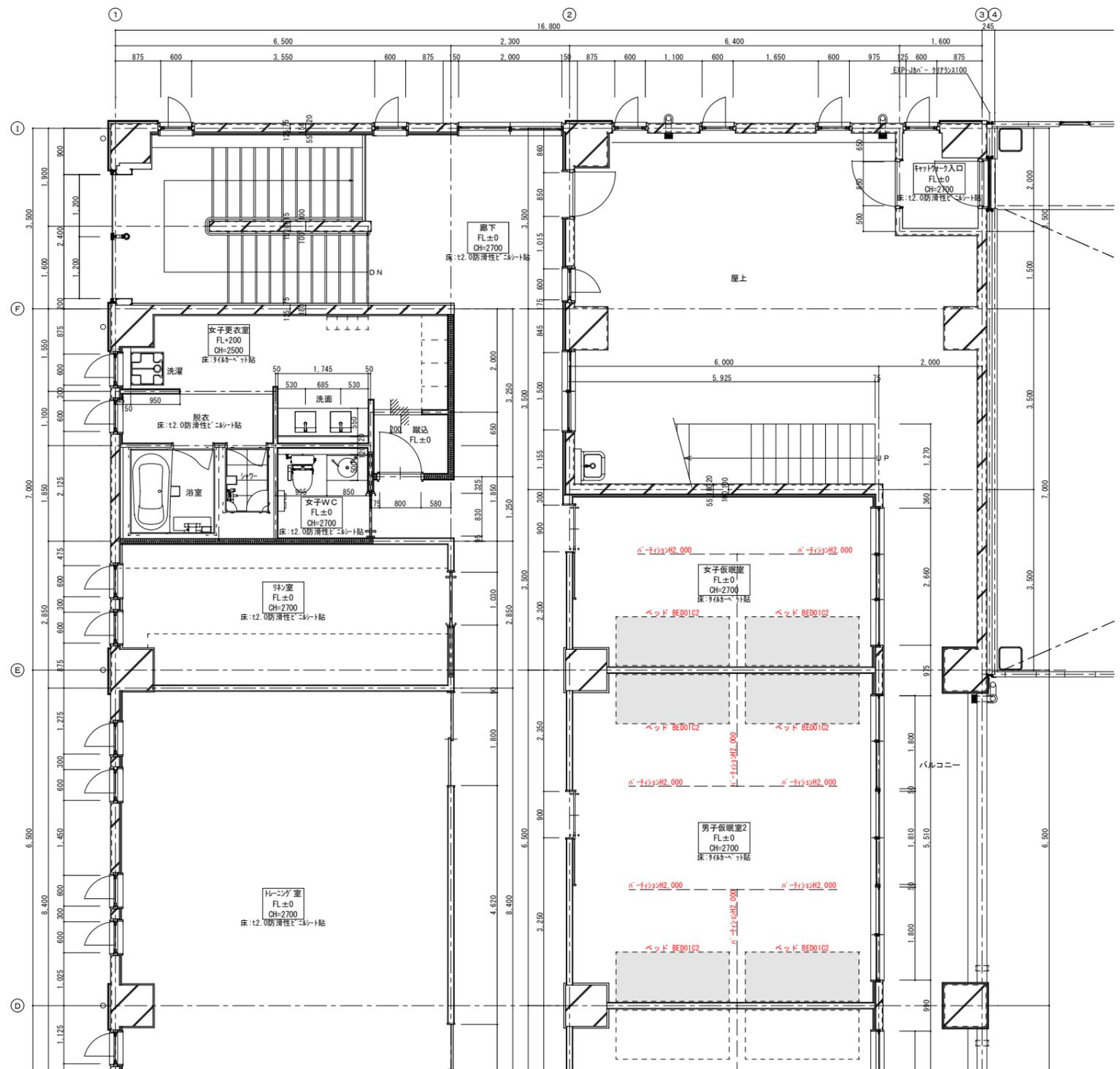
図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える

例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/300→1/600, 1/200→1/400, 1/100→1/200, 1/50→1/100

承認	担当	製図	年月日	2018.10
			縮尺	1/50

工事名称 筑西消防署川島分署 新築工事

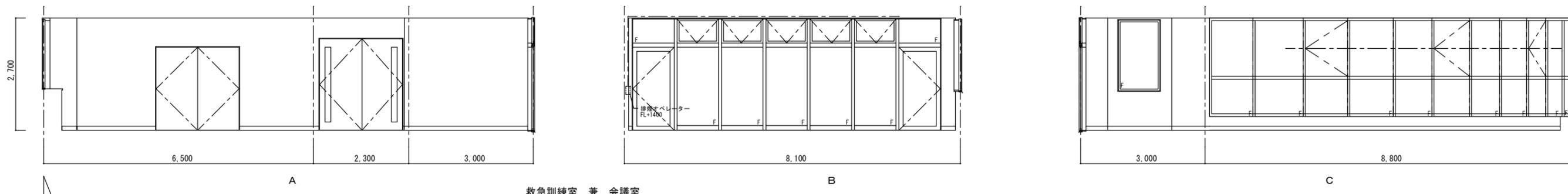
図面名称 事務所棟_2階平面詳細図(1)



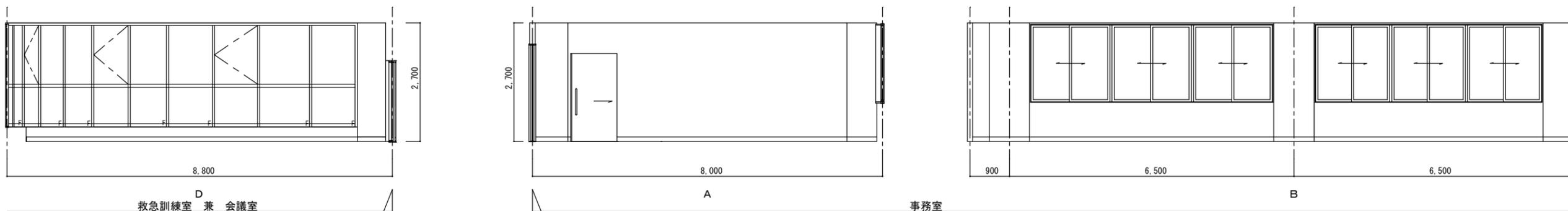
特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/300→1/600, 1/200→1/400, 1/100→1/200, 1/50→1/100

承認	担当	製図	年月日	2018. 10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号
			縮尺	1/50	図面名称	事務所棟_2階平面詳細図(2)	A / 27

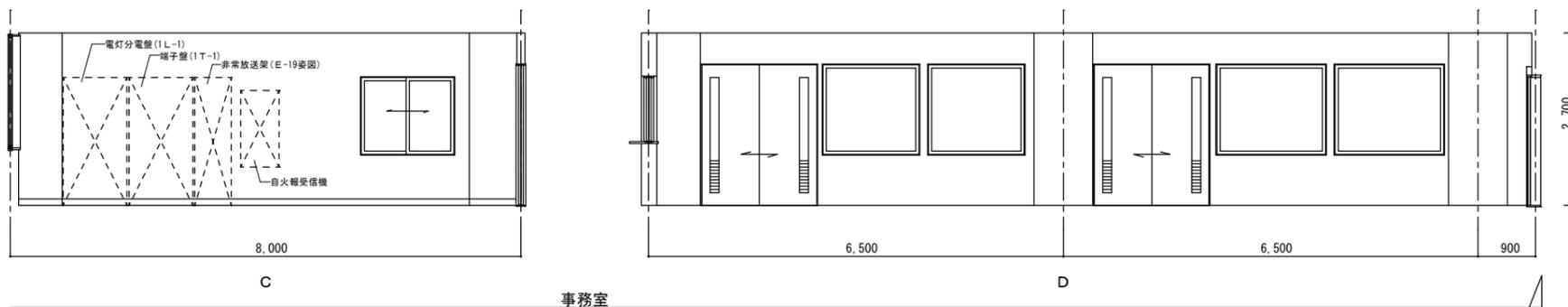


救急訓練室 兼 会議室

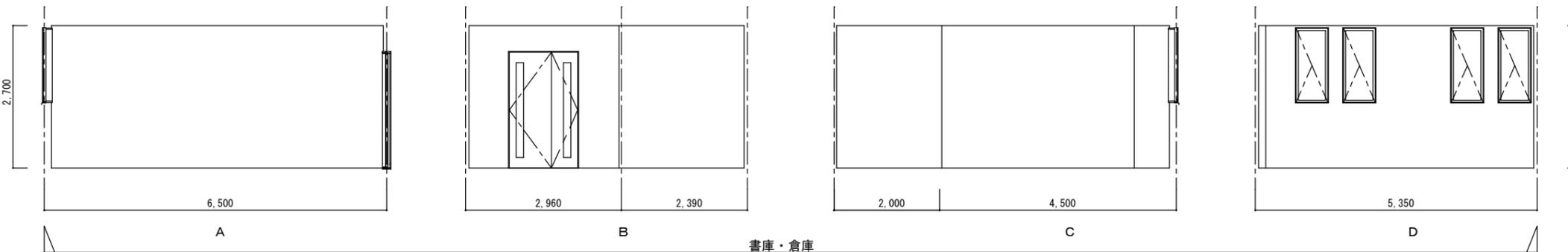


救急訓練室 兼 会議室

事務室



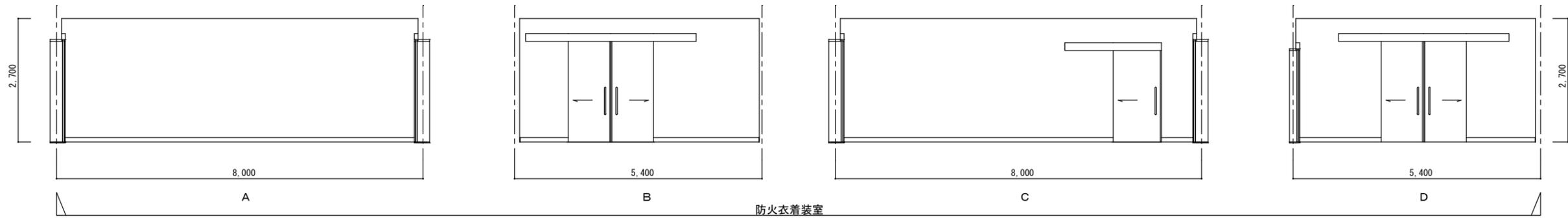
事務室



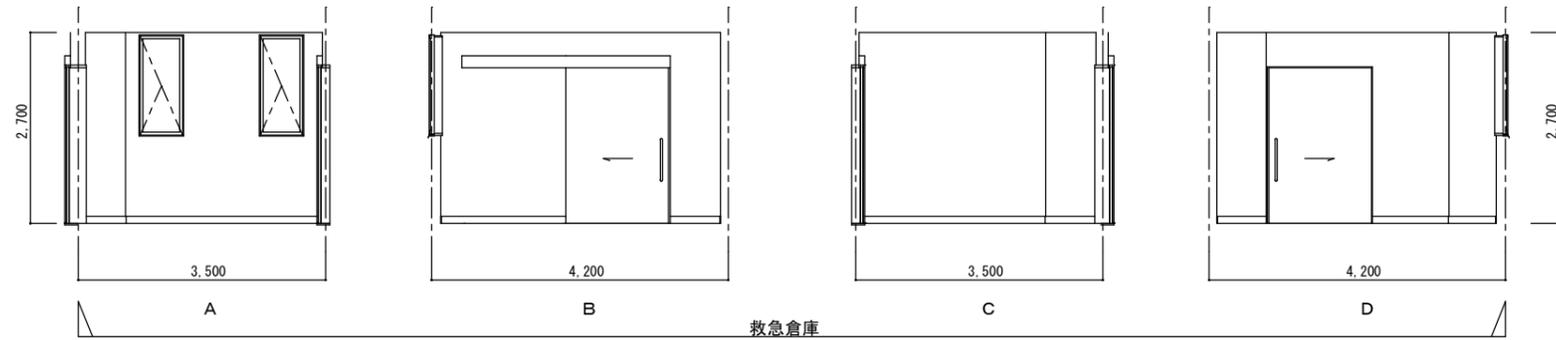
書庫・倉庫

特記事項
 図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例:1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

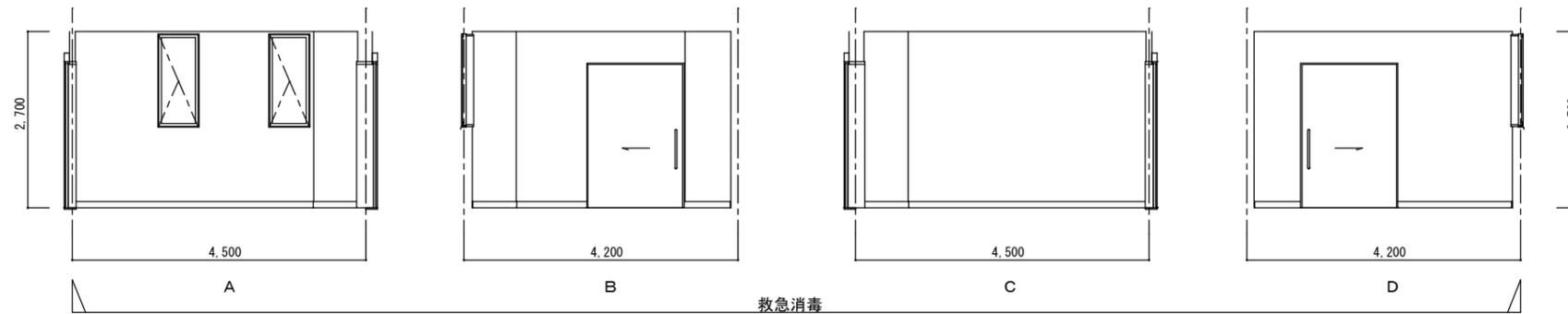
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/100	図面名称	事務所棟_展開図(1)		28



防火衣着室



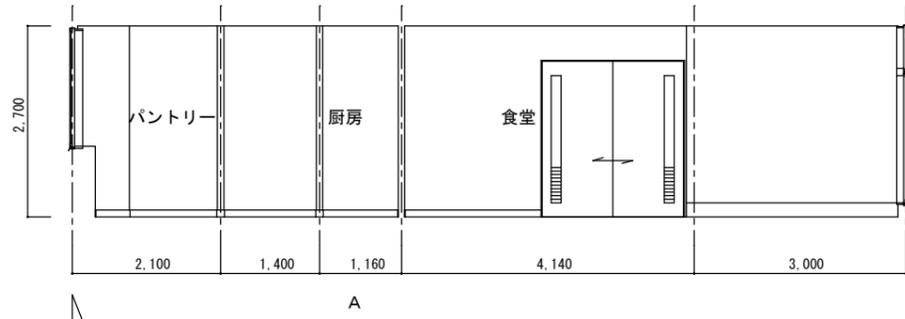
救急倉庫



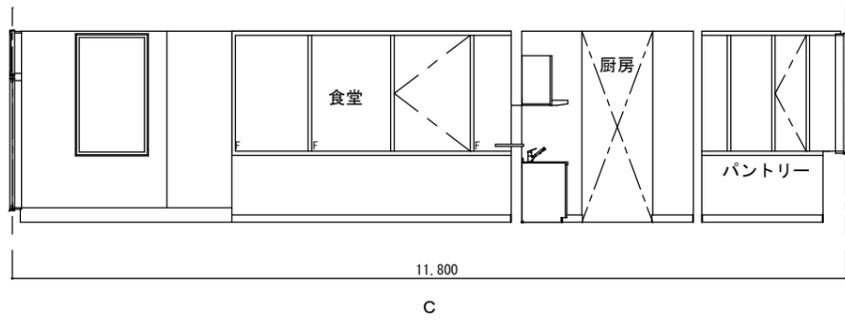
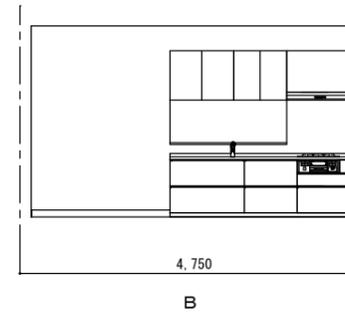
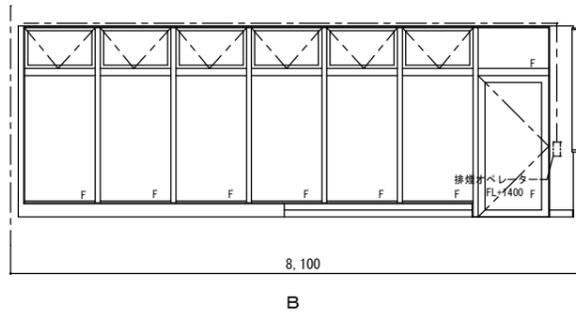
救急消毒

特記事項
 図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10

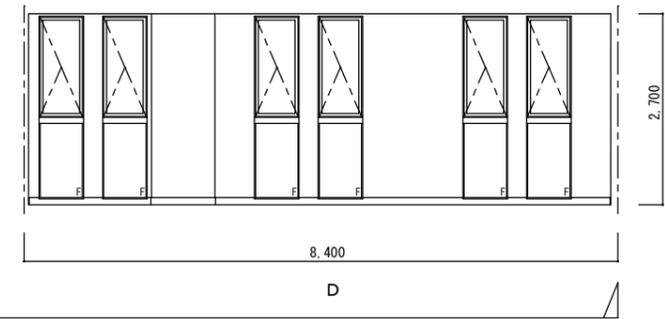
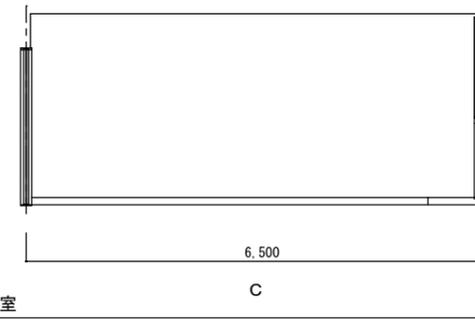
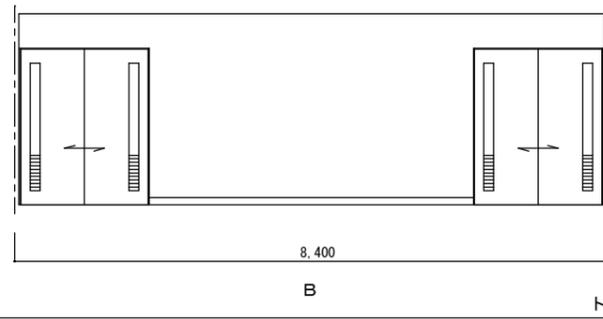
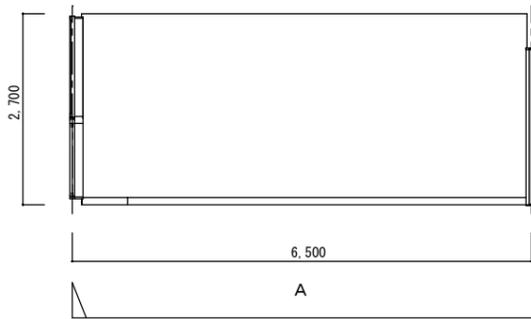
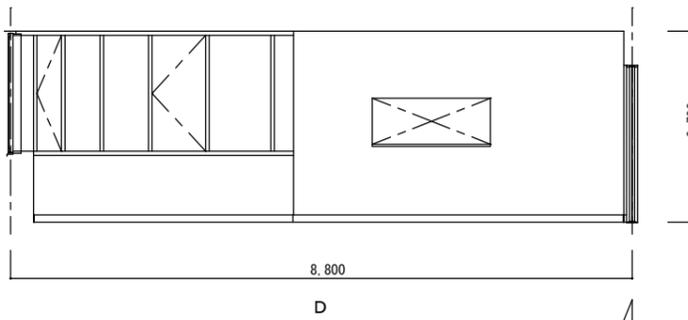
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/100	図面名称	事務所棟_展開図(2)		29



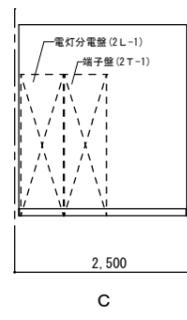
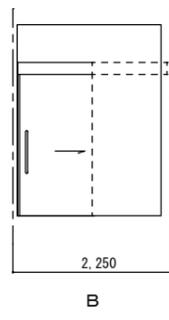
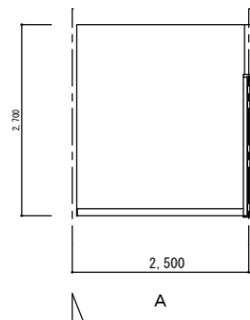
食堂 厨房



食堂 厨房



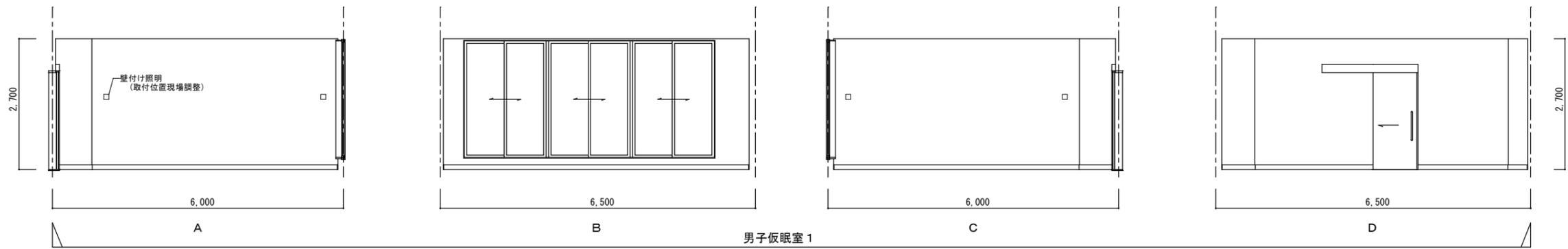
トレーニング室



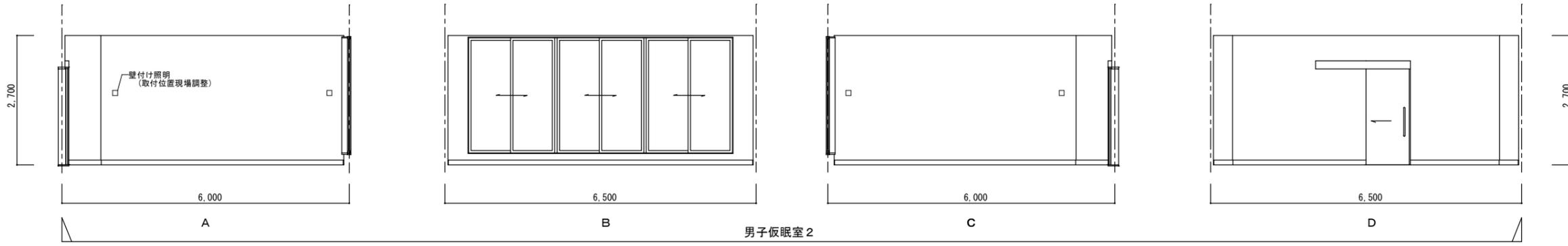
倉庫

特記事項
 図面サイズはA 1とする。図面サイズがA 3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/300→1/600、1/200→1/400、1/100→1/200、1/50→1/100

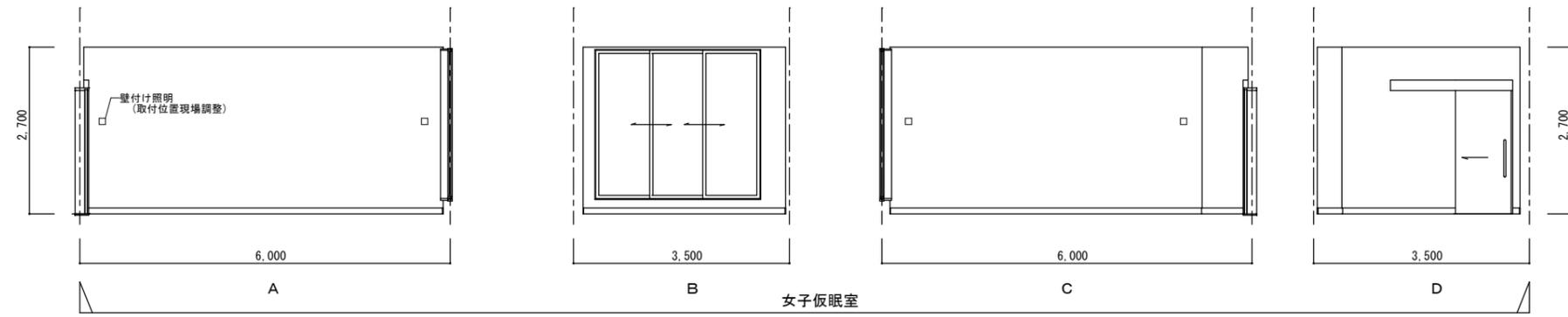
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/100	図面名称	事務所棟_展開図(3)		30



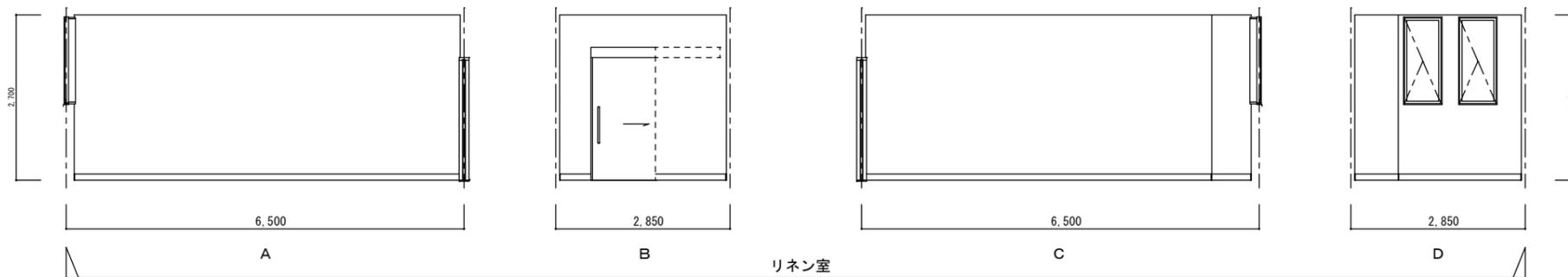
男子仮眠室 1



男子仮眠室 2

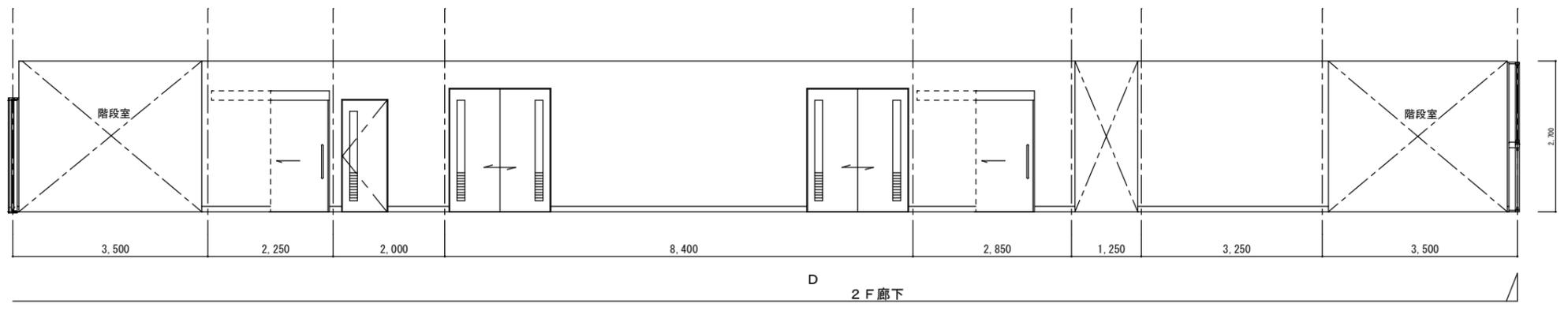
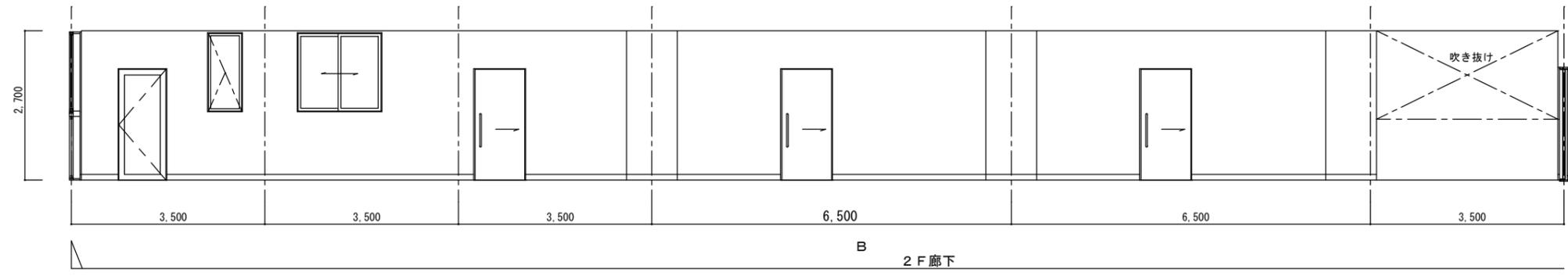
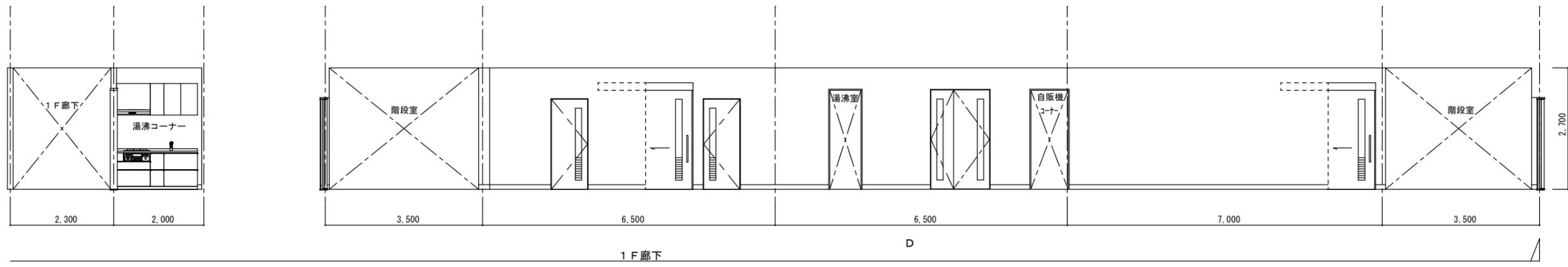
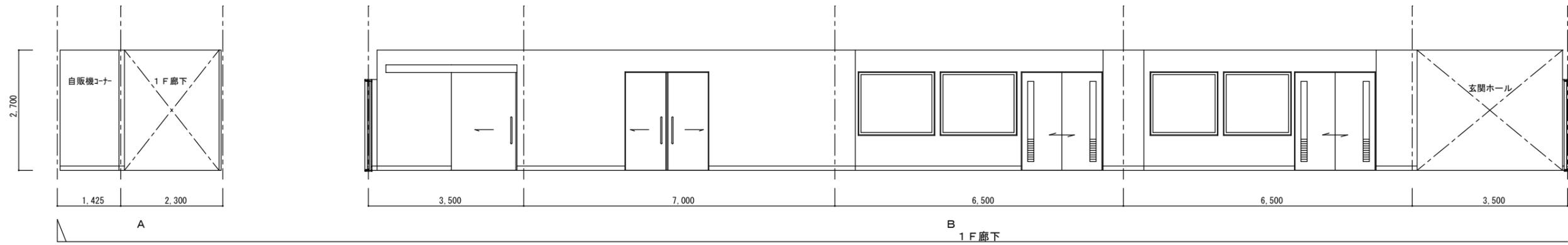


女子仮眠室

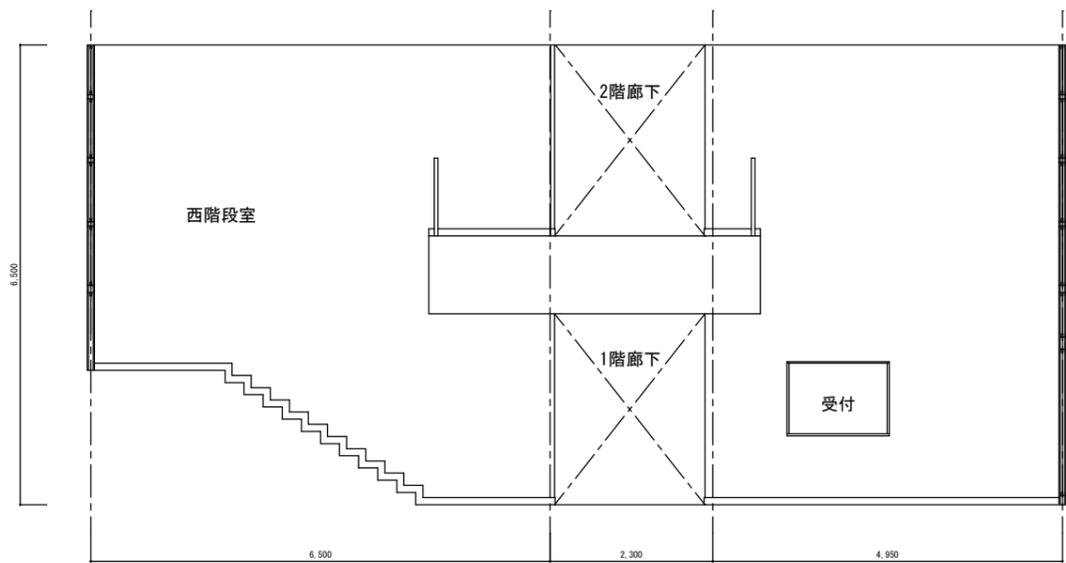


リネン室

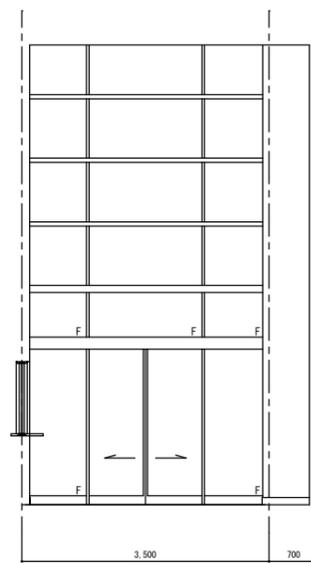
特記事項 図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10	承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
				縮尺	1/100	図面名称	事務所棟_展開図(4)		31



特記事項 図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える 例:1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10	承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
				縮尺	1/100	図面名称	事務所棟_展開図(5)		32

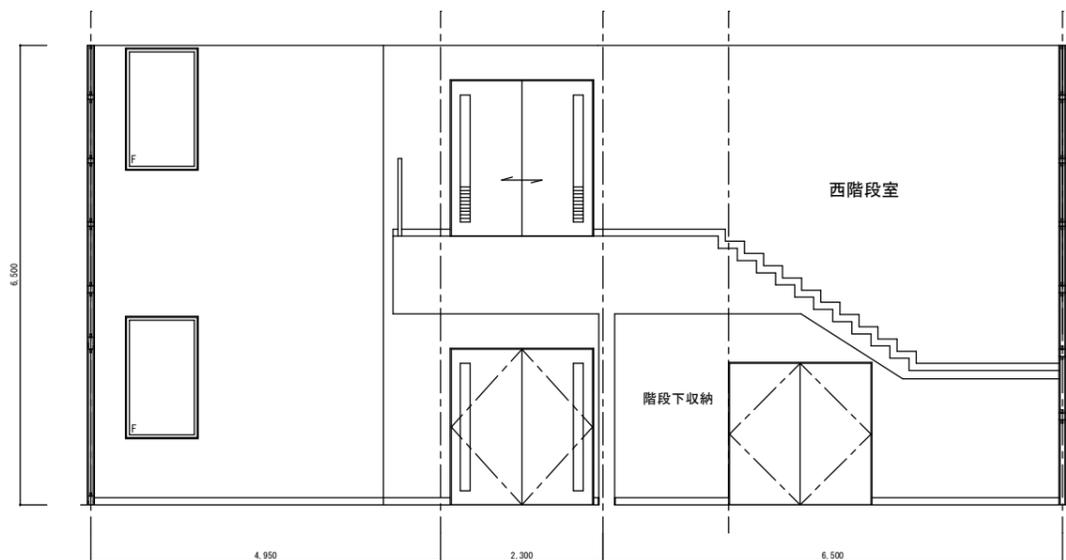


A

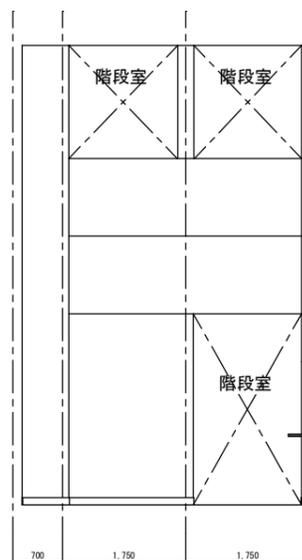


B

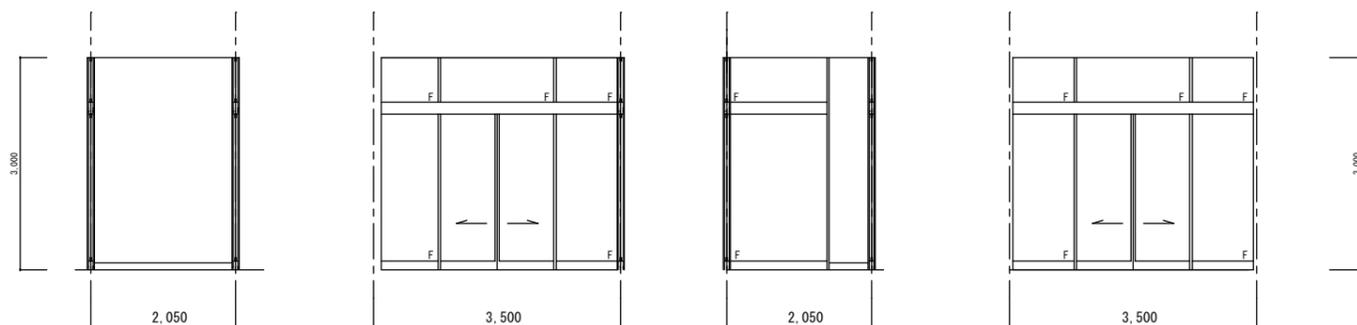
玄関ホール



C



D



A

B

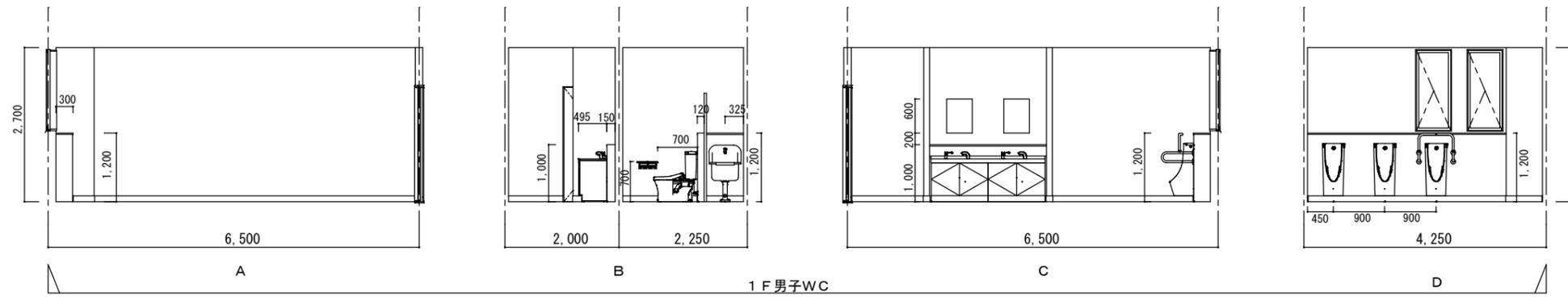
風除室

C

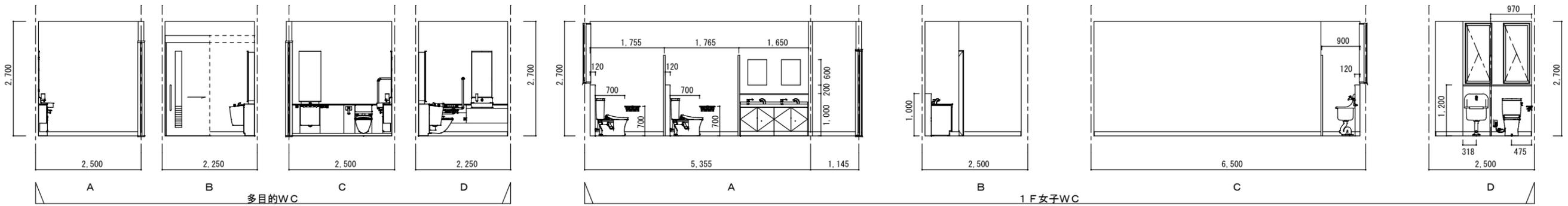
D

特記事項
 図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例:1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

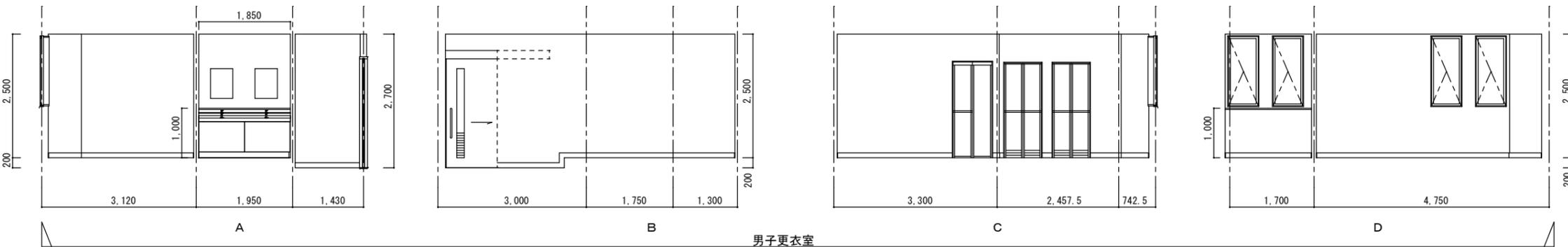
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/100	図面名称	事務所棟_展開図(6)		33



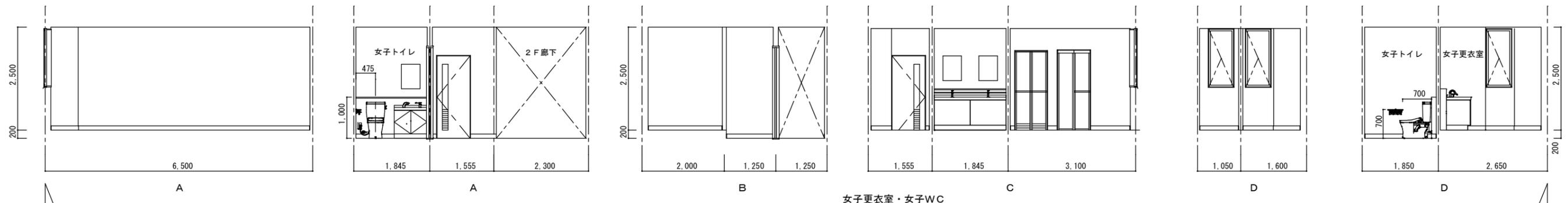
1F男子WC



1F女子WC



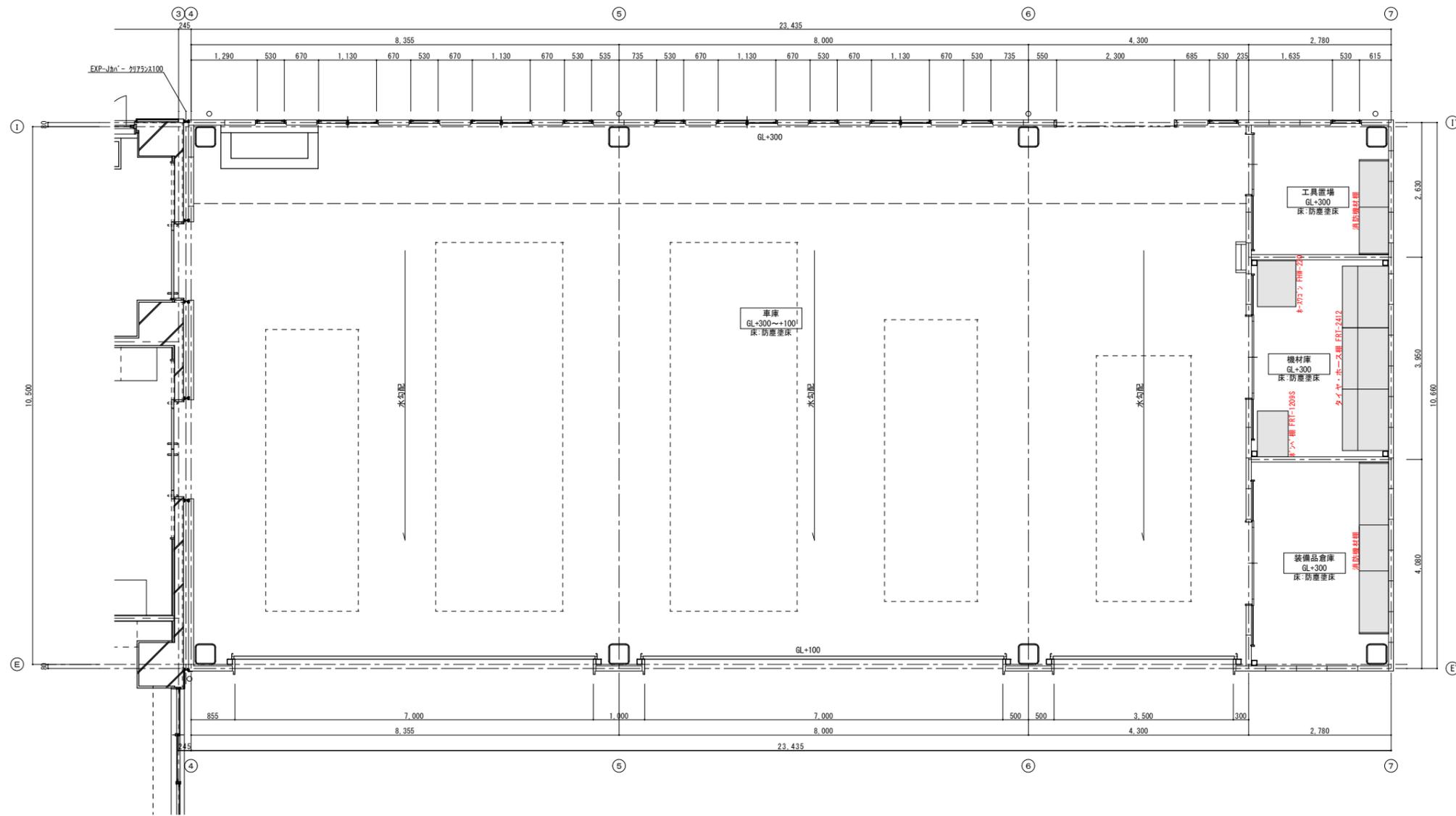
男子更衣室



女子更衣室・女子WC

特記事項
 図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

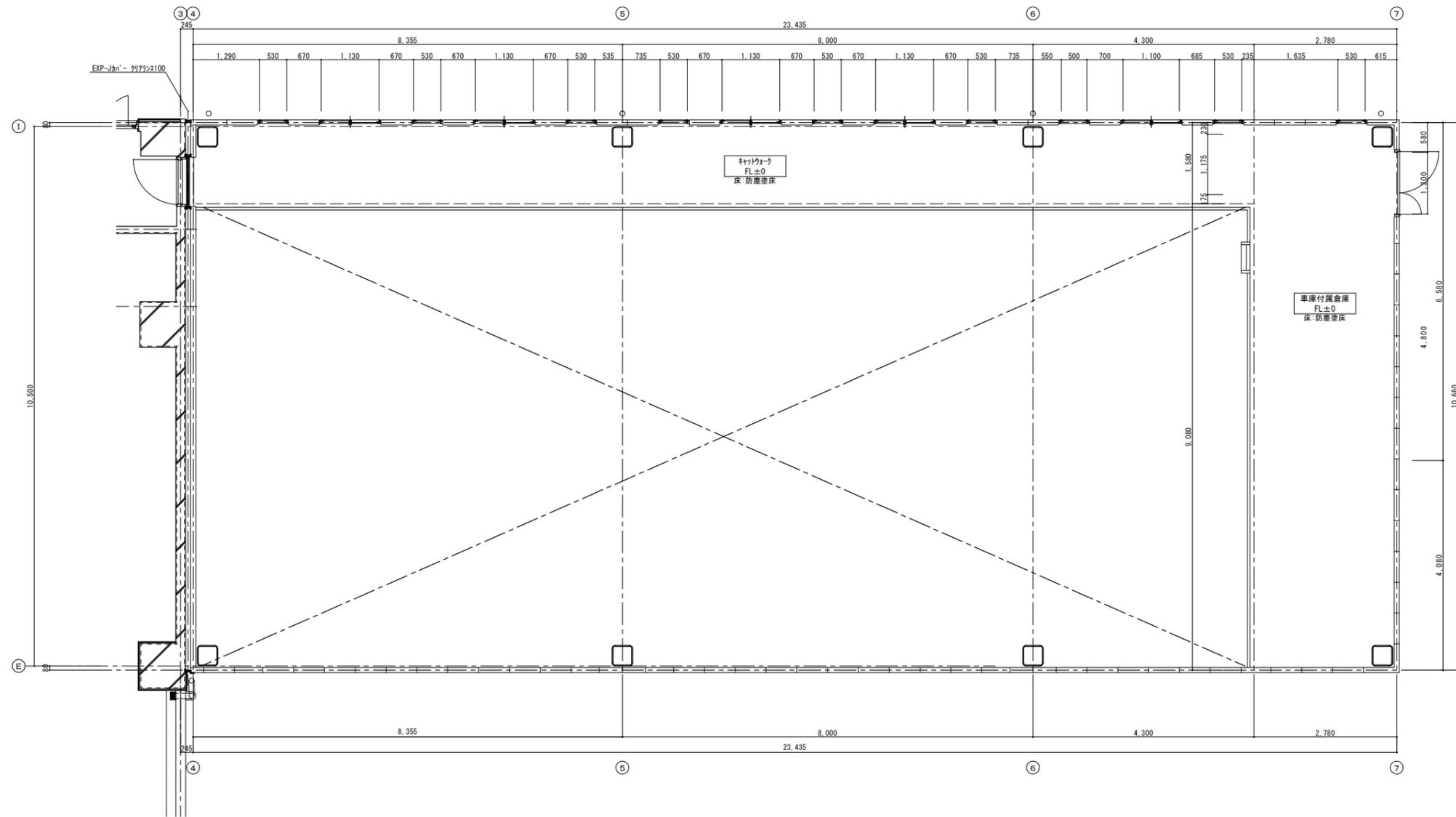
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号
			縮尺	1/100	図面名称	事務所棟_展開図(7)	A



特記事項

図面サイズはA 1とする。図面サイズがA 3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/50	図面名称	車庫棟 1階平面詳細図	35	

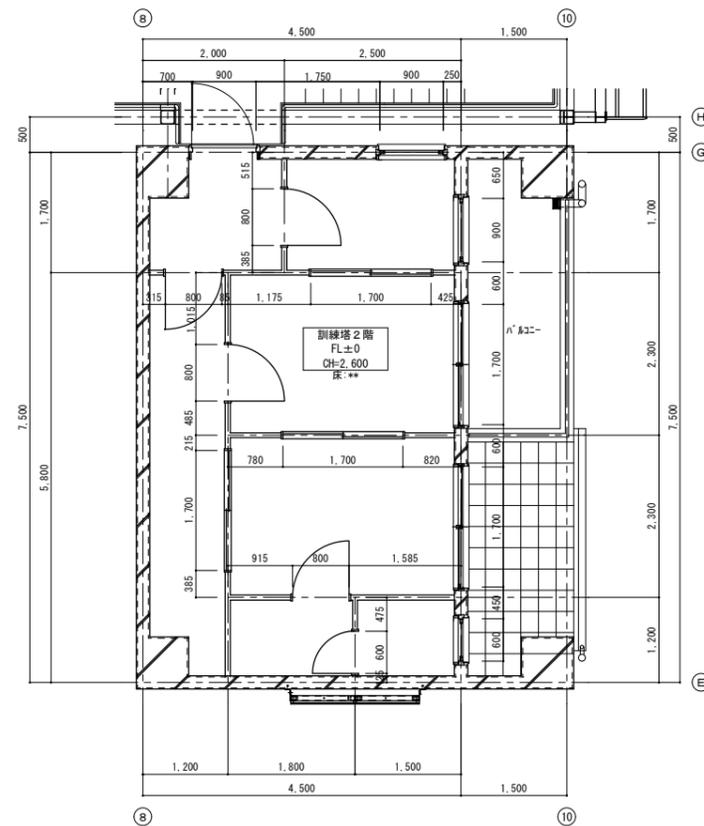
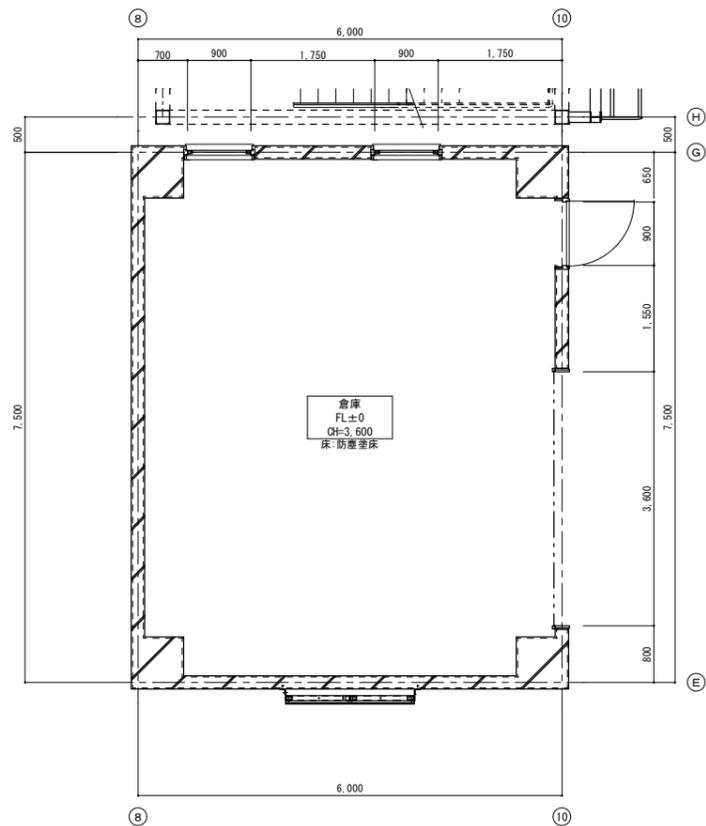


特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える

例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10

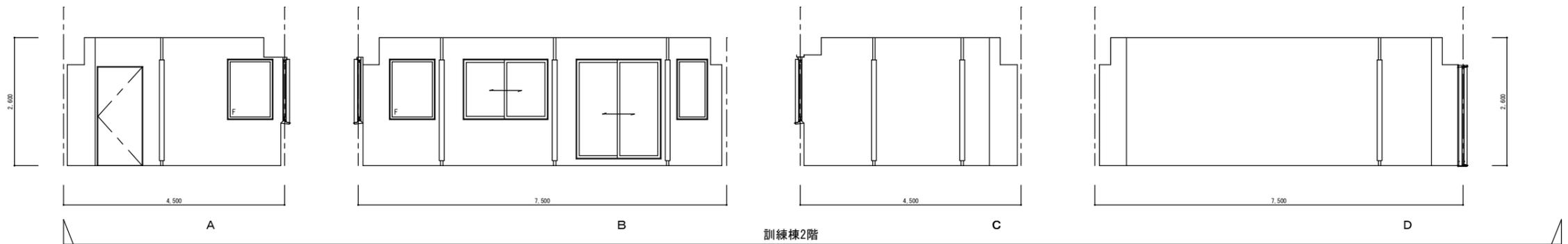
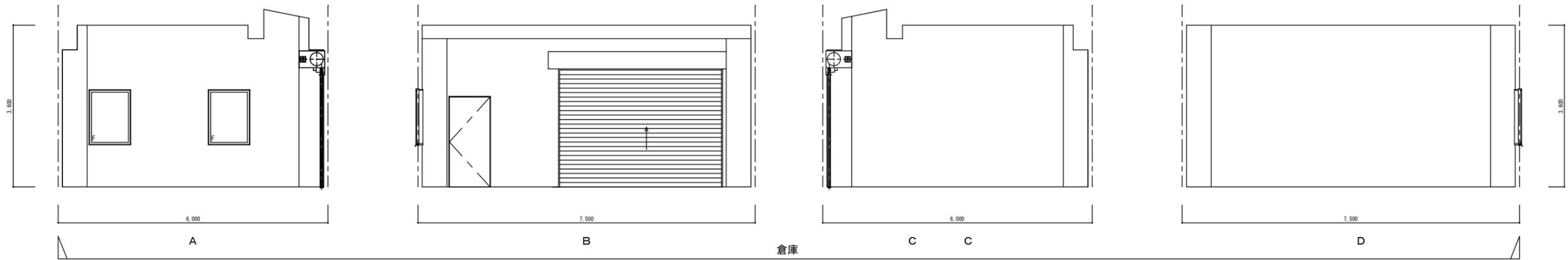
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号	A
			縮尺	1/100	図面名称	車庫棟_2階平面詳細図	36	



特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

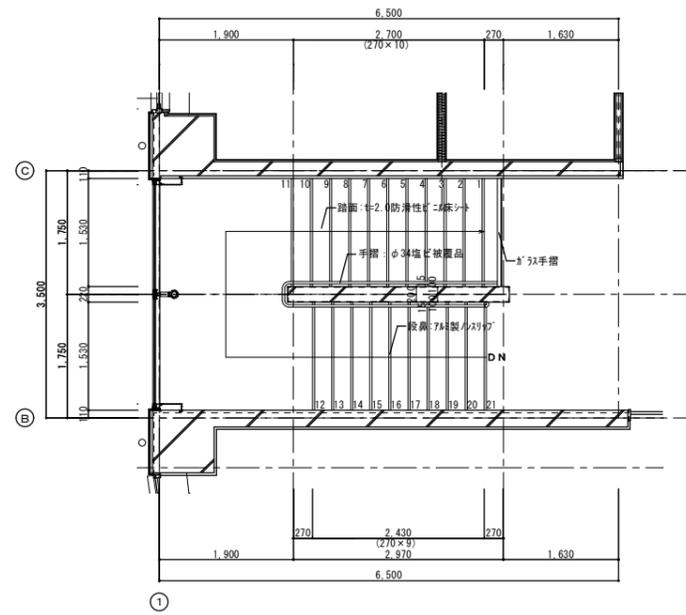
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号
			縮尺	1/50	図面名称	訓練塔_平面詳細図	A / 37



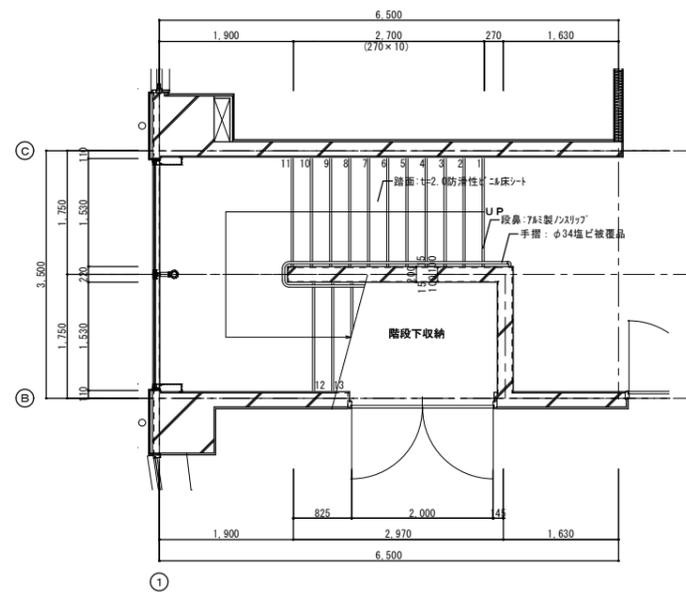
特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例:1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

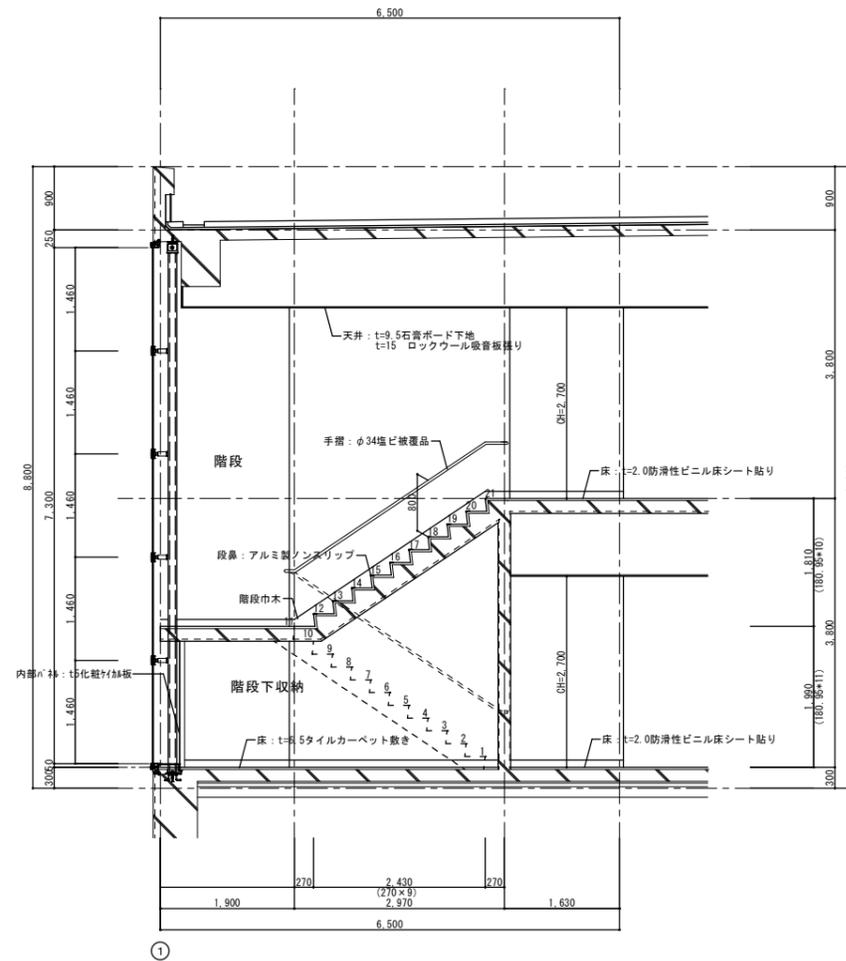
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号
			縮尺	1/100	図面名称	訓練棟_展開図	A / 38



西階段_2階平面詳細図



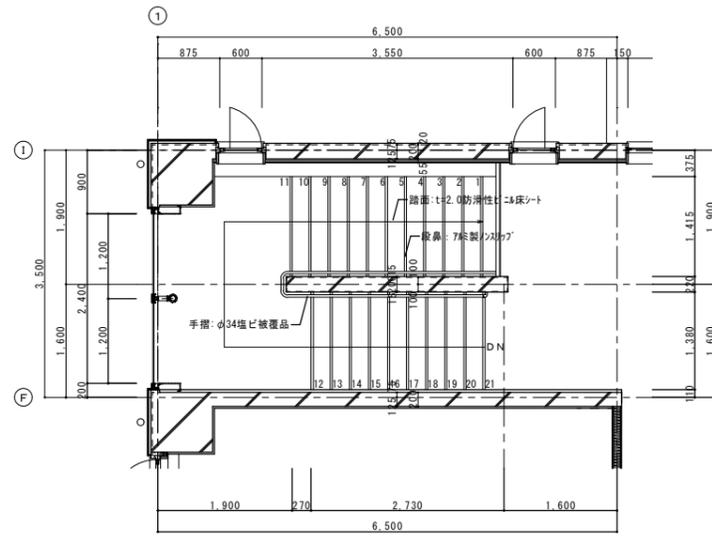
西階段_1階平面詳細図



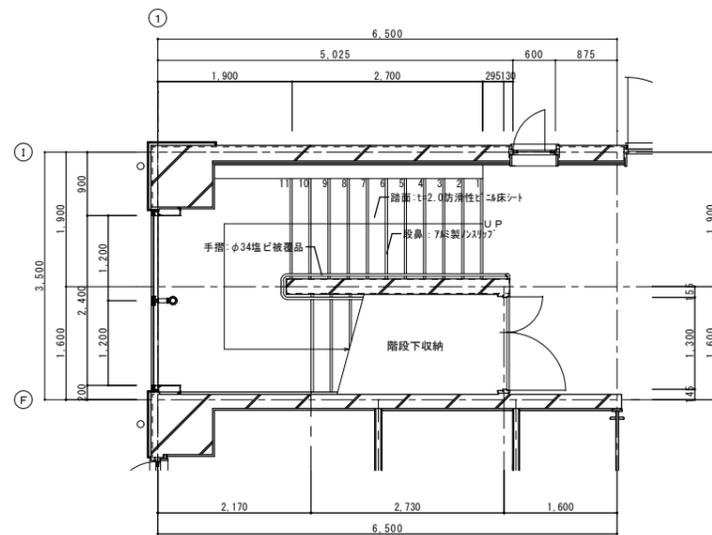
西階段_断面詳細図

特記事項
 図面サイズはA 1とする。図面サイズがA 3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

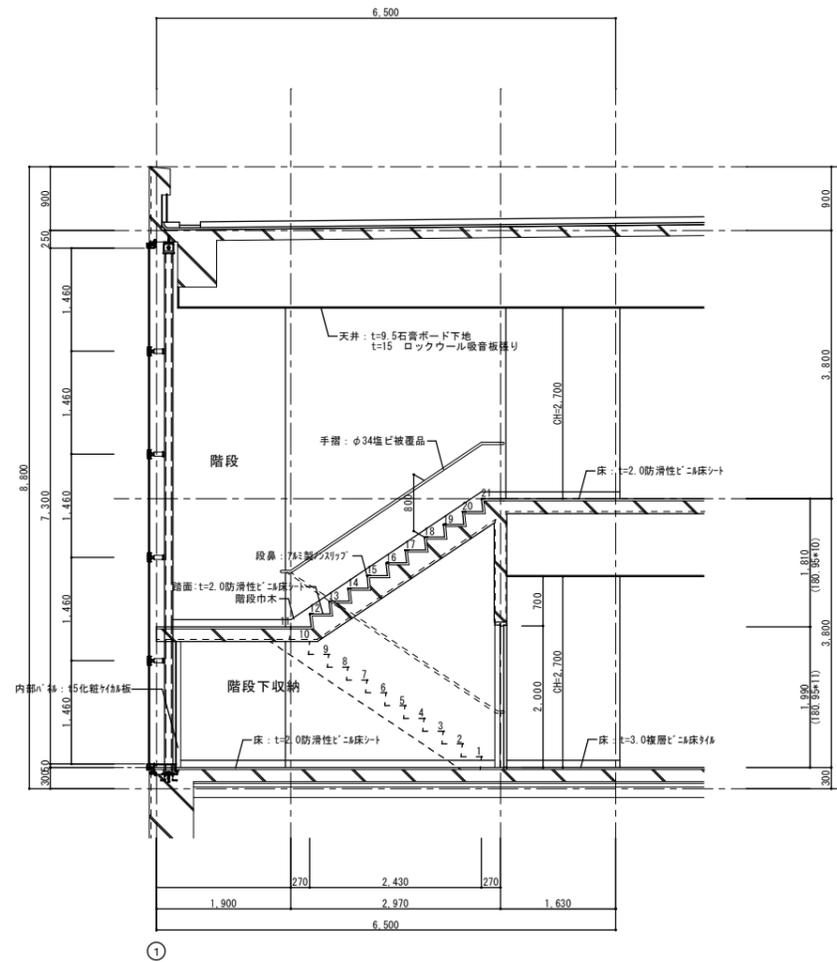
承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号
			縮尺	1/50	図面名称	東階段詳細図	A
							39



東階段 2階平面詳細図



東階段 1階平面詳細図



東階段 断面詳細図

特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
 例: 1/50→1/100, 1/100→1/200, 1/200→1/400, 1/30→1/60, 1/20→1/40, 1/10→1/20, 1/5→1/10

承認	担当	製図	年月日	2018.10	工事名称	筑西消防署川島分署 新築工事	図面番号
			縮尺	1/50	図面名称	西階段詳細図	A / 40